



慶應義塾中等部



中等部の歌 表紙裏

ある日の中等部・施設・

生徒の作品 カラーページ

「古くて新しい学校」の

第三の時代 1

学校生活 2

教職員と生徒 5

教育課程 6

1年生の授業内容 7

学校行事 9

行事のようす カラーページ

現職教員からのメッセージ 13

同窓会活動 23

生徒の作文から 24

刊行物 26

慶應義塾の目的 28

慶應義塾の歴史 30

募集のあらまし 32

Q & A 33

中等部記念の歌 裏表紙裏

中等部の歌

折口信夫作詞

芥川也寸志作曲

卷之三

金子のサムライ 三、春在れり今

廣應之集

三
一

卷之三

若きは臣が仕

二、海面反射法

王國忠

獨立之精神

ますますやし

若葉はほがれ

四、今也自尊

世代本多少

慶應之旗

卷之三

مکالمہ

若主はゆたか

廣瀬裕之書

中等部の歌について

1948年、「慶應義塾中等部の歌」が作詞・折口信夫、作曲・芥川也寸志によって作られ、同年9月28日に日比谷公会堂にて発表記念演奏会が開催されました。

折口 信夫 (1882~1953)

元慶應義塾文学部教授。国文学者・民俗学者・歌人。民俗学を国文学的研究に取り入れ、民俗学の国文学を確立した。また駅逕空の筆名で歌人としても活躍。

芥川也寸志（1925~1989）

20世紀の日本を代表する作曲家・指揮者。1948年4月から49年12月まで中等部音楽科教諭。1948年度1年A組担任。

ある日の中等部



三色旗



始業式



基準服（2・3年生）



基準服（1年生）



英会話の授業



理科の授業

施設



正門から見た校舎



ポプラ館



ポプラ館 CAV室



ポプラ館 音楽室



ポプラ館 家庭科室



FUTURE館



FUTURE館 教室C



体育館



体育館 アリーナ



体育館 中体育室



体育館 多目的コート



体育館 プール



大教室

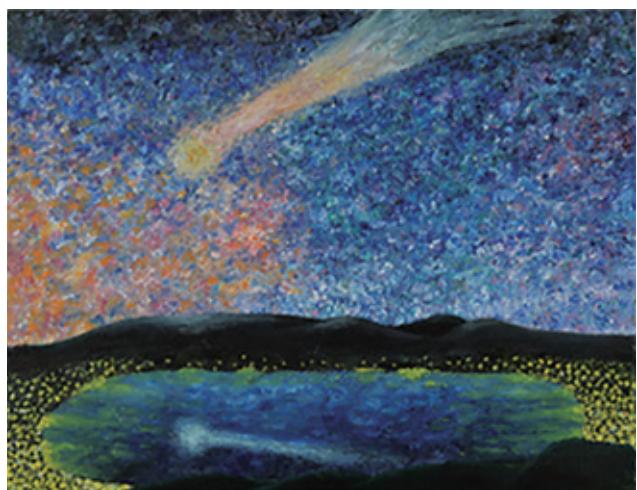


普通教室



綱町グラウンド

生徒の作品



「古くて新しい学校」の第三の時代

慶應義塾中等部長

慶應義塾中等部にご関心をお寄せいただき、まことにありがとうございます。

長いコロナ禍のトンネルをようやく抜けようとしていますね。みなさんもきっと晴れ晴れとしたお気持ちになられているのではないでしょうか。本校も本来の姿を取り戻しつつあります。そのような私たちの姿をご覧いただくことができてとてもうれしく思います。

慶應義塾、慶應義塾中等部は、これまで二度の新しい時代の入り口に立ってスタートしました。最初は、慶應義塾創立の頃です。義塾の祖、福澤諭吉は、激動の近代化の潮流の中で、「独立自尊」の理念を掲げ、日本の進むべき新しい道を示しました。二度目は、慶應義塾中等部創立の頃です。第二次世界大戦敗戦の荒廃から立ち上がり、新しい自由の時代の幕開けと共に、慶應中等部の自由で明るいのびのびとした校風の学校生活は始まりました。

いずれも混沌とした世の状況から抜け出し、新しい時代を切り拓く気概を持った私たちの先達が、新時代のよりよい人材を世に送るべく学びの場を作ろうとしました。それが私たちの二つの創立の背景です。その伝統は形を変えながら今日まで脈々と受け継がれています。慶應義塾は日本最古の近代学塾とされていますが、いつも新しい時代の入り口に立った「古くて新しい学校」なのです。

さて、この「古くて新しい学校」も三度目の新しい時代の入り口に立たされているように思います。天の配剤かまったくの偶然か何かの因果があってかはわかりませんが、コロナ禍の終わりは、AI 新時代の幕開けでもありました。AI は、我々の生活や仕事や、そして教育を大きく変える可能性があります。

いまは、学校で学ぶことも知識を得るだけであれば、おそらく自宅にいて一人で十分にできるでしょう。書物だけでなく、インターネット、とりわけ動画コンテンツは膨大なものがあります。AI を用いた学習も世に出回っています。これらだけでも必要な知識をうるにはあまりあるほどです。では、学校はいらなくなるでしょうか。

慶應中等部の答えは否です。

私たちが掲げる理念は、創立以来「自立した個人を育む、自由な教育」です。その根底には福澤諭吉の「独立自尊」があります。自立した個人に求められるのは「自分で考える」「自分で判断する」「自分で行動する」、そして「その結果に責任を持つ」ということです。AI に考えてもらうのとは対極にあります。AI は結果に責任を持ってはくれません。もちろんこれからの時代、AI をうまく活用していくのは必須となるでしょう。だからこそ、学校で育むべきは、AI にはできない、いわば人間側の心と頭と体です。それは本校の教育の 3 本柱である「学業」、「校友会活動（クラブ活動）」、「学校行事」を通じた、教師と生徒、生徒同士、つまり人と人との関わりから創発される総合的な人間力なのだと思います。

生徒たちの、時に真剣で、時に柔軟で、時に笑顔あふれる面々をぜひご覧ください。おそらくその力を感じていただけるのではないかと思います。

この理念の意味は、第三の新しい時代の入り口にあってより高い次元で問い合わせなければなりません。

学校生活

生徒には、自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物になってほしいと願っています。集団生活を行う上で、ある程度の規則を設定することはもちろん必要です。しかし、規則があるからやむを得ずに守るのではなく、生徒各人がなぜ好ましくないのかを「気品の泉源」「智徳の模範」の主旨に照らし合わせて考える習慣を養うため、「べからず」式の禁止事項を最小限にとどめ、自由の中に規律を求めることを目指しています。

〈中等部生活上守るべきこと・

知っておくべきこと〉

学校で生活するにあたっての申し合わせ事項を紹介しましょう。

服 装

[中等部生としてふさわしい、気品のある、端正なものであること]

1. 服装は自由であるが、バッジを常につけ、ジーンズなどは避ける。
2. アクセサリーなどはつけない。また、髪の染色・脱色はしない。
3. 式および諸行事には、基準服を着用する。

人間関係

[相手の人格を尊重し、良好な関係を築いていこう。自分がされたくないことを、相手には絶対にしない]

1. 常に相手の立場を考え、思いやる気持ちを持つ。
2. お互いに協力し合い、困っている人がいたら手を差し伸べよう。
3. 身体的、精神的に相手を傷つける行為はしない。
4. 集団での無視、中傷、いやがらせはしない。
5. ネットやメールでのやりとりにも気を付ける。

校 内 — 登校時から下校時まで

[学校という社会生活のルールを守り、礼儀正しくふるまおう]

1. 午前 7：30 以前には登校しない。

2. 中等部手帳・生徒証・ロッカーキーは、常に携帯する。
3. 必要以上の現金は持ってこない。
4. 授業に必要な電子機器は持ってこない。
5. 漫画やゲーム類を持ってこない。ただし碁・将棋は例外とする。
6. 菓子類は、持ってこない。
7. ケガや事故につながるような危険な行動をとらない。
8. バットやラケット、固いボールなどの危険なものでは遊ばない。
9. クラスボールは周囲に配慮して使う。蹴る、強く投げる、高く打ち上げることはしない。
10. 緊急事態の場合、すぐに教職員へ連絡する。大人の助けを必要とするとき、各HR教室では「非常通報装置」(校内インタークム)が使用できる。
11. 中等部と綱町グラウンドの行き来には、必ず横断歩道を利用し、歩道を歩く。
12. 体育館では、赤ひもの運動靴を使用する。
13. 大声を出すなど、周辺住民の迷惑となるような行動は慎む。
14. エレベーターは原則使用しない。
15. iPadは利用規約に従って利用する。

校 外 — 登下校時および休日

[校外においても、中等部生らしい良識のある態度をとろう]

1. 登下校の途中に寄り道をしない。
2. 大学、女子高構内には立ち入らない。
3. 日曜・祭日などの休日は、原則として登校しない。

校 友 会

[校友会活動は、学業と並ぶものであり、積極的に参加しよう]

1. 校友会の入部・退部は、その校友会の部長と担任に書面で届け出る。
2. 校友会の活動は、一つの校友会について、平日週3日以内とする。休日の活動については、各校友会の部長の判断により、必要に応じて行う。
3. 夏休み中の活動日数は、休暇日数の半分以内とする。
4. 試験前1週間と試験中は、校友会活動をしない。

5. 早朝練習は、部長の許可を得る。
 6. 雨天の場合、運動部の構内での練習場所は、体育館・体育館周辺・本館西側階段および新館階段のいずれも2～4階、ピロティ、大教室前に限る。廊下部分を使用してはいけない。

届・連絡・手続

[届・連絡は、団体生活においては大切なものであるから、速やかに行おう]

1. 欠席・遅刻・早退などは、担任に書面で届け出る。
 2. 欠席の場合は、当日始業前に電話連絡をする。
 3. 体育の見学は、予め届けを体育教員に提出する。急な場合は、保健室でみてもらった上で体育教員に申し出て、後日届けを提出する。
 4. 学校保健法で指定された病気・感染症で欠席した場合は、登校再開時に保健室で校医の面接を受ける。
 5. 生徒証・ロッカーキーを紛失した場合、器物を破損した場合は、すぐに担任に報告し必要な手続をとる。
 6. 校外に出る場合は、担任または校友会の部長の許可を得る。
 7. 早退や保健室で休む場合は、担任団に連絡する。
 8. 家庭からの生徒の呼び出しは、緊急の場合のみとし、担任を通じて行う。

登下校時刻

| | | |
|---------------------------|-----|-----------|
| 始業時刻 | 午前 | 8 : 10 |
| 終業時刻 | 平 日 | 午後 2 : 20 |
| | 土 曜 | 午後 0 : 30 |
| 下校時刻 | | |
| 4月～展覧会まで | 午後 | 5 : 30 |
| 展覧会後～12月 | 午後 | 4 : 30 |
| 1月～3月 | 午後 | 5 : 00 |
| 試験中 | 午後 | 1 : 00 |
| 休暇中・試験前一週間・試験最終日・授業のない登校日 | 午後 | 4 : 00 |

〈基準服〉

ふだんの登校のとき必ず着なければならぬ制服はありません。学校の服装に対する考

え方は、自己の判断、あるいは家庭の協力によって年齢にふさわしい、しかも個性を生かした服装をするということにあるといえます。ただ、そのためには判断のよりどころとなるものを与えねばなりませんし、中学生という年齢層の少年少女には、時には、はっきりした基準を示さなければなりません。それが、基準服ということになります。

- 男子 指定のブレザー・ズボン・白のワイシャツ・黒の革靴・ダーク系の靴下・
指定されたネクタイ
(夏は、ブレザーなし・ノーネクタイ・
他は同じ)

○女子 指定のブレザー・ベスト・スカート
またはスラックス・白のブラウス・
黒の革靴・白のハイソックス
(夏は、ブレザーなし・他は同じ)

〈校友會活動〉

校友会活動（クラブ活動）への参加は各自の自由ですが、学業と並ぶ大切なものとして位置づけています。各部の活動は原則として平日週3日以内ですので、学芸部と運動部を兼部する生徒が多く、校友会活動を通して、上級生・下級生の関係や、メンバーが違えば集団の個性も変わることなどを学んでいきます。校友会には学芸部21、運動部17の部があります。なお昨年度の校友会部員数及び合宿一覧は次の通りです。

2023年度 校友会部員数一覧

| 学芸部 | | | | 運動部 | | | |
|-------------|-------|----------|--------|-----------|-------|--|----|
| | 男女 | | 男女 | | 男女 | | 男女 |
| 英語研究会 | 20:0 | 書道部 | 0:3 | 弓術部 | 30:36 | | |
| 化学研究会 | 37:7 | 地理研究会 | 158:41 | 剣道部 | 5:10 | | |
| カメラクラブ | 20:20 | 図書の会 | 32:8 | サッカー部 | 71:0 | | |
| 器楽部 | 30:61 | 美術部 | 12:30 | 山岳部 | 9:6 | | |
| 気象・天文・生物愛好会 | 26:12 | 文芸部 | 4:11 | 柔道部 | 1:4 | | |
| | | 報道研究会 | 5:16 | 女子ソフトボール部 | 0:22 | | |
| 近代劇研究会 | 18:11 | マンドリンクラブ | 2:29 | 水泳部 | 15:8 | | |
| コーラス部 | 0:19 | 模型部 | 19:0 | 体操部 | 10:55 | | |
| コンピュータ研究会 | 8:0 | 料理と手芸の会 | 4:34 | 卓球部 | 27:0 | | |
| 茶道部 | 4:21 | | | テニス部 | 27:30 | | |
| 社会研究会 | 13:4 | 歴史部 | 24:1 | 馬術部 | 15:15 | | |
| 将棋部 | 12:1 | | | バスケットボール部 | 52:22 | | |
| | | | | バレーボール部 | 31:26 | | |
| | | | | フェンシング部 | 16:4 | | |
| | | | | 野球部 | 39:0 | | |
| | | | | ラグビー部 | 33:1 | | |
| | | | | 陸上競技部 | 28:10 | | |

2023年度 校友会合宿一覧

| 学芸部 | 期間 | 行先 |
|----------|-------------------------------------|-------------------------|
| 英語研究会 | 7/22~7/24 | 山梨県西湖 |
| カメラクラブ | 7/30~8/1 | 日光 |
| 器楽部 | 3/29~4/1 9/2~9/6 | 斑尾高原 苗場 |
| コーラス部 | 8/7~8/10 | 苗場 |
| 社会研究会 | 3/20~3/22 9/3~9/6 12/26~12/28 | 広島 大阪・岡山 京都・大阪 |
| 将棋部 | 9/4~9/6 | 天童 |
| 書道部 | 8/29~8/30 | 中等部 |
| 地理研究会 | 7/23~7/26 9/4~9/6 1/5~1/8 | 瀬戸内地方 秋田・青森 岡山県真庭 |
| 図書の会 | 7/25~7/26 9/5~9/6 | 中等部 箱根 |
| 美術部 | 3/28~3/30 7/30~8/1 | 倉敷・真庭・岡山 日光 |
| 文芸部 | 7/29~7/31 | 小豆島 |
| 報道研究会 | 8/31~9/2 3/28~3/30 | 大阪 倉敷・真庭・岡山 |
| マンドリンクラブ | 8/7~8/10 | 苗場 |
| 模型部 | 9/4~9/5 | 鬼怒川 |
| 歴史部 | 8/28~8/29 | 日光 |

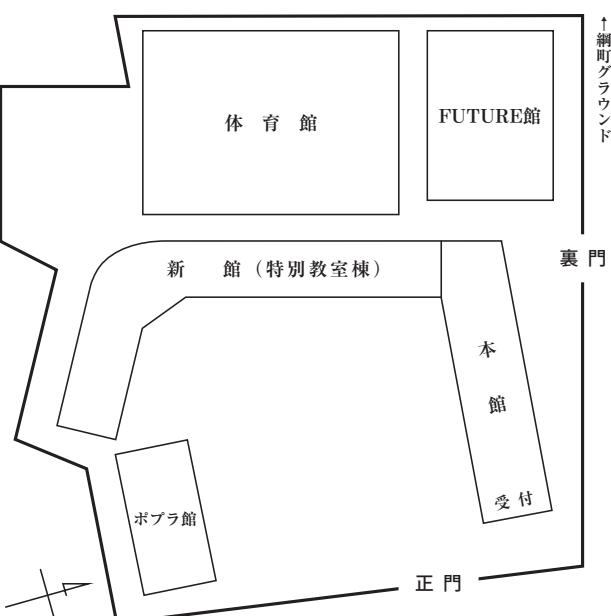
| 運動部 | 期間 | 行先 |
|--------------|-----------------------------------|-------------------|
| 弓術部 | 8/3~8/6 | 野辺山 |
| 剣道部 | 7/30~8/1 | 勝浦 |
| 山岳部 | 3/20~3/22 8/2~8/6 | 赤倉 常念岳 |
| 女子ソフトボール部 | 8/21~8/24 | 山中湖 |
| 水泳部 | 8/1~8/4 | 福島県土湯温泉 |
| 体操部 | 4/4~4/6 7/25~7/27 8/22~8/25 | 山中湖 中等部 中等部 |
| 卓球部 | 7/29~7/31 | 大網 |
| テニス部 (男子) | 7/28~7/31 | 伊豆高原 |
| テニス部 (女子) | 7/30~8/2 | 水上高原 |
| 馬術部 | 8/21~8/25 | 佐久市望月馬事公苑 |
| バスケットボール部 | 3/22~3/26 8/28~9/1 | 福島県棚倉 北志賀竜王高原 |
| バレーボール部(女子) | 7/28~7/31 | 中等部 |
| フェンシング部 | 8/19~8/21 | 慶應蓼科山荘 |
| ラグビー部 | 7/27~7/30 | 長野県菅平高原 |

※新型コロナウイルスの影響で、2023年度に合宿を行わなかった校友会もあります。

〈施設〉

都心にある学校ですので、敷地などの面では決して恵まれているとはいえないが、施設を徐々に増やし、より良い学習環境を整えてきました。

普通教室のある本館と新館、特別教室棟などがあり、体育の授業や運動部の練習など屋外の運動は、校舎から少し離れた所にある綱町グラウンドを使用しています。グラウンドの脇には1993年に武道館（剣道場・柔道場・弓道場）が完成しました。また、1990年にポプラ館が、2000年にはFUTURE館が竣工し、視聴覚教育を中心として、さまざまなメディアを駆使した授業が行えるようになりました。さらに、アリーナ・中体育室・小体育室・セミナールーム・和室・多目的コート・プールを備えた新体育館が、2011年3月に竣工しました。



教職員と生徒

教員は、生徒に適切な指針を示し、その成長の道のりを見守るよう、努めています。お互いの信頼関係に基づいた上で、明るい人間関係を築くことを目指しています。

〈生徒〉

中等部の1学年の生徒数は約240名です。各学年とも男女混合の6クラスで、1クラスの生徒数は約40名です。また、男女の比率はおよそ3:2です。今年度4月の生徒数は以下の通り（カッコ内はそのうちの幼稚舎からの進学者）です。

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|----|---------|---------|---------|
| 男子 | 144(32) | 145(32) | 142(39) |
| 女子 | 96(47) | 97(48) | 94(44) |

〈高校への進学〉

3年の卒業時に中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。男子は高等学校（日吉と略、以下同様）、志木高等学校（志木）、ニューヨーク学院高等部（NY）のいずれか、女子は女子高等学校（女子）、ニューヨーク学院高等部のいずれかです。昨年度の卒業生

（250名在籍）の進学状況は以下の通りです。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部（藤沢）に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部への進学はできなくなりました。

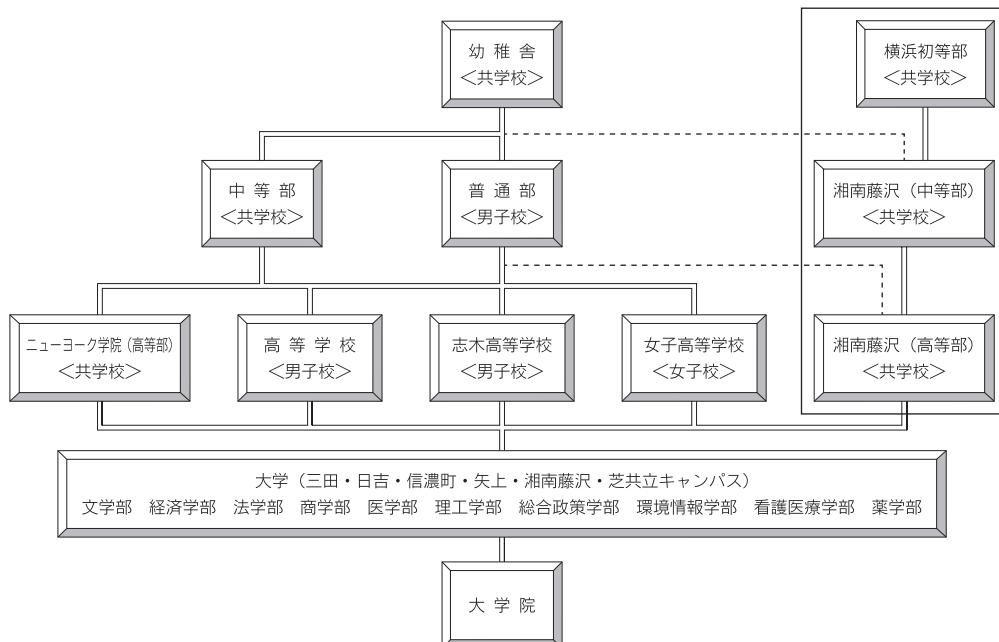
| | 日吉 | 志木 | 女子 | NY | その他 |
|----|-----|----|----|----|-----|
| 男子 | 137 | 12 | - | 3 | 2 |
| 女子 | - | - | 94 | 0 | 2 |

〈教職員〉

今年度の教員数は、部長1名、主事1名、その他の専任教員40名、非常勤講師26名です。事務職員は事務長1名のほか14名、保健師1名、カウンセラー1名です。なお、校医は7名が交代で健康管理にあたっています。

教員の間には、教務、行事、図書、年鑑、メディア、施設などの諸委員会が設けられ、学校の運営と教育の充実のために努力しています。また、SDGs委員会が環境整備に取り組んでいます。

教員の学術研究も活発で、研究会や研修が常に行われており、教員による著書や学術論文、研究発表や講演も少なくありません。1995年3月には紀要『ウェリタース』第1号が発刊され、その後年1回刊行されています。



教育課程

生徒が将来円満な人格と豊かな人間性をもつ人になることを教育目標としていますから、学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。つまり、慶應義塾の大学を卒業し、社会の中核の人物になり得る素地を作るためには、いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を積み重ねることが必要で、それが自分の可能性の発見につながります。

〈授業〉

授業時間は45分単位です。年間を通じて授業は午前8時10分に始まります。月曜日から金曜日までは6時間の授業があり、午後2時20分に終わります。土曜日は4時間の授業とホームルームがあり、午後0時30分に終わります。週6日制となっています。

| | |
|------|-------------------|
| 1 時限 | 8 : 10 ~ 8 : 55 |
| 2 時限 | 9 : 05 ~ 9 : 50 |
| 3 時限 | 10 : 10 ~ 10 : 55 |
| 4 時限 | 11 : 05 ~ 11 : 50 |
| 昼休み | 11 : 50 ~ 12 : 40 |
| 5 時限 | 12 : 40 ~ 13 : 25 |
| 6 時限 | 13 : 35 ~ 14 : 20 |

1週間の授業時数は、各学年とも35時間です。体育では男女別で授業を行いますが、それ以外の科目はすべて男女一緒です。また、英語Ⅱでは、各学年ともネイティヴスピーカーと日本人の教員と一緒にひとつの教室で授業をするティームティーチングを実施しています。さらに英語Ⅲでは、生徒の習熟度を考慮した少人数クラス編成による授業が行われています。技術・家庭、国語演習、数学演習でも、クラスを2つに分けた少人数教育を行い、より一層一人一人に目が届く指導を心がけています。

学期は3期制で、学期ごとに各科目で成績評価が出されます。考査は年間5回の定期考査の他に、科目により平常考査が行われます。これは、定期考査と平常考査の両者に一長一短があるため、併用しているのです。また、レポートの提出やノート検査、課題や宿題の出来具合等、考査以外にも評価の対象になることがあります。

総合的な学習の時間は時間割に組み込まず、各教科や行事の中で総合的な学習の要素を取り入れた指導をしています。

週当たり授業時数

| | | 1年 | 2年 | 3年 |
|---------|-----|----|----|----|
| 国 語 | I | 2 | 2 | 3 |
| | II | 2 | 2 | 2 |
| | 演習 | 1 | 1 | - |
| | 習字 | 1 | - | - |
| 社 会 | I | 2 | 2 | 2 |
| | II | - | - | 2 |
| | III | 2 | 2 | 1 |
| 数 学 | I | 3 | 3 | 2 |
| | II | 2 | 2 | 2 |
| | 演習 | - | 1 | 1 |
| 理 科 | I | 2 | 2 | 2 |
| | II | 2 | 2 | 2 |
| 音 楽 | | 2 | 2 | 1 |
| 美 術 | | 2 | 1 | 2 |
| 保健体育 | 体育 | 2 | 2 | 2 |
| | 保健 | 1 | 1 | - |
| 技 術・家 庭 | | - | 2 | 2 |
| 英 語 | I | 3 | 2 | 2 |
| | II | 2 | 2 | 2 |
| | III | 1 | 1 | 1 |
| 選 択 | | - | - | 2 |
| 情 報 | | 1 | 1 | - |
| 道徳・特別活動 | | 2 | 2 | 2 |
| 計 | | 35 | 35 | 35 |

〈選択授業〉

3年生になると、週に1回、2時間連続して行われる「選択授業」を受講します。多彩な講座の中から自分の興味や関心に応じて選択しますから、より一層学習意欲を高めるきっかけになると思います。

選択授業では、ふだんの授業で取り扱われない内容や教員の専門分野を生かした内容なども受講できるように工夫されています。クラスの枠をこえたメンバーで受講しますから、生徒も教員も新たな環境で学びあうことを探しています。

2024年度 実施科目一覧

- 伏線について考える
- 書道×芸術
- ものづくり×SDGs
- 1970年代小説入門
- 推理小説を推理する
- コンテストに挑戦しよう
- 文学と映画
- マネーのIQを学び感動を設計する
- SDGsのすゝめ
- ミツバチの世界へ、ようこそ！
- アンサンブルを楽しもう
- 造形ワークショップ
- ハンディクラフト
- 英会話（advanced/intermediate）
- フランス語入門
- スペイン語入門
- 目指せ留学（TOEFL準備）
- 演習数学／理科演習

1年生の授業内容

1年生では、まず授業に慣れ、自分の勉強方法を確立することが大切です。毎日の授業をしっかりと聴いてノートをとり、予習・復習を心がけるよう指導しています。以下に、1年生の授業内容を簡単に紹介しましょう。

国 語

国語Iでは、物語や小説、詩、短歌、俳句などの文学作品を中心に、随筆、説明文、論説文など、さまざまな形式の文章に触れながら、内容を正確に読み取る力を養います。文章をみんなで元気よく朗読することもありますし、「学問のすすめ」の暗唱も行います。また、週1回の演習の時間では、ことばを用いて自分を表現することの楽しさを学びます。原稿用紙の使い方などの基礎的な学習から始まり、俳句・短歌の創作、ブックカバーの制作、ディベートなど、さまざまな表現活動を行います。

国語IIでは、わたしたちがふだん使っている「ことば」というものについて深く考えるために、音声や文字、ことばのきまりを学びます。

習字では毛筆を使い、文字を正しく、美しく、速く書くために行書を中心に学びます。

社 会

社会Iと社会IIIがあり、それぞれ世界地理と歴史を扱う科目です。

社会Iでは、地図帳を用いて、世界の国々・世界の地形・世界の気候などを学習します。また、林間学校の準備学習として、目的地の地図を用いた授業も行います。

社会IIIでは、日本史の他に世界史も適宜扱い、1年生では、人類の発生や四大文明、ギリシャ・ローマの歴史なども学習します。

数 学

数学Ⅰでは代数分野を、数学Ⅱでは幾何分野を扱います。

数学Ⅰでは、基本的な計算を中心に、正負の数の計算から始めて、文字式の使い方、方程式・不等式の解法と文章題、関数の意味と比例・反比例などを扱います。

数学Ⅱでは図形の基礎的な用語の説明から始めて、作図と移動、空間図形などを学習します。時には論証を重視して扱うこともあります。

理 科

化学・物理を扱う理科Ⅰと、生物・地学を扱う理科Ⅱに分かれています。

理科Ⅰでは、水溶液や気体の性質、力のはたらき、光の進み方などを、実験を取り入れながら学習します。

理科Ⅱでは、植物と大地の変化について学習し、屋外での観察・スケッチや、顕微鏡での観察レポートなどの課題が出ます。

音 楽

まずは「慶應義塾塾歌」「中等部の歌」を歌えるように練習します。様々な歌を歌ったり、リズム遊びから楽譜の読み方の基礎を学習したり、「春」「越天楽」「魔王」「ブルタバ」などの鑑賞も取り入れています。アルトリコーダーの演奏も楽しめます。

美 術

3年生における油彩画制作の前段階として、1年生では、厚塗りが可能な不透明水彩絵の具（ガッシュ）の使い方を学ぶところから始めます。絵の具の使い方に慣れたら、大学構内に写生に行きます。また、デザイン、木版画や陶芸も経験します。

保健体育

保健の授業では、最初に健康とはどういうことなのかを考えます。体のしくみを初步的に学び、さらに体の発育・発達について、また運動することで体のはたらきがどのように変化するかなども学習します。

体育の授業では、サッカー、ソフトボール、水泳、バレーボール、バスケットボール、剣道、持久走などを行います。発育、運動能力について個人差はありますが、中学生期は体の発育・発達の面で大切な時期です。運動の得意、不得意に関わらず、はじめに努力することが大切です。

情 報

コンピュータの操作などの実践的な学習活動を通じて、情報を適切に処理して日常生活や社会生活において活用できる能力を身につけることを目標としています。

文字の入力やソフトウェアの活用、データの整理などといった基本的な操作や、ネットワークに接続された本校のコンピュータシステムの活用について学習していきます。

特にコンピュータネットワークを利用する上でのルールやマナーについては、油断をせず、しっかりと学習することが大切です。

英 語

アルファベットの確認から始めて、一年間で英語で自己紹介や身のまわりのことが表現できるようにします。常に外国と日本の文化の相違について意識しながら、なるべく日常よく使う単語やフレーズを中心に学習していきます。英語Ⅰでは問題集を活用し、基本的な文法を学び、英語Ⅱではネイティブスピーカーとのティームティーチングを活用し、英語Ⅰで学んだことを実践的に運用します。英語Ⅲは2クラス以上に分割します。少人数制を生かし、ローマ字や辞書の使い方、歌や音読、文法の復習など英語Ⅰ、Ⅱを補うきめ細かい指導をしています。

学校行事

毎日の授業以外にも大切なことはたくさんあります。友達と和を深めたり、一緒に目標に向かって頑張ったりしながら、かけがえのない思い出をつくりあげていく、それが中等部の学校行事です。

例年の学校行事について紹介します。

新入生歓迎会（4月）

2・3年生全員が新入生を歓迎し、あわせて校友会の各部の内容の紹介をします。例年のプログラムは次の通りです。

| | |
|-----|---|
| 第1部 | 1. 開会宣言 2. 中等部の歌 3. 生徒会委員長挨拶 4. 新スタッフ・局員の紹介 5. 生徒会機構の説明 |
| 第2部 | 学芸部の紹介 |
| 第3部 | 運動部の紹介 |
| 第4部 | 1. 新入生へのプレゼント 2. 新入生へのインタビュー 3. 閉会宣言 |

健康診断（4月）

身長・体重などの計測や、視力・聴力などの検診を細かく行います。

遠 足（4月）

学年ごとに、近郊への遠足を行います。入学以来、緊張していた新入生にとっては、担任とのふれ合いや、クラスメイトと仲良くなるよい機会になっています。今年度の各学年の行き先は次の通りで、昨年度の1年生の感想を載せておきます。

- 1年生……昭和の森公園
- 2年生……片瀬江ノ島
- 3年生……マザー牧場

期待と不安が入り混じった入学式から3週間が経ち少しづつ中等部生活に慣れてきた4月28日。1年生は、昭和の森公園に行ってきました。天気はこれ以上ないくらいの晴天でした。きっと、コロナ禍で我慢を重ねてきた私たちへの神様からのプレゼントだった気がします。

行きのバスでは、近くの人と話したり、指相撲をしたりしてとても楽しい時間でした。昭和の森に着いたら、学年全員でクラス対抗レクリエーションをしました。A組が優勝しましたが、どのクラスも徐々に一致団結しているように感じられました。クラス対抗レクリエーションが終わったら少し歩いた後、昼ご飯を食べました。はじめて校外で食べたお弁当は最高に美味しかったです。午後の自由時間では、ドッヂボールやバレーボール、ペットボトルキャップで野球をしている人たちもいました。

この遠足により、入学式の時に感じていた期待と不安の不安が一掃された気がします。なぜなら三田に帰ってきたときのみんなの表情が疲れていたものの笑顔にあふれていたからです。友達との絆が一気に深まった、とても楽しく有意義な時間となりました。これから3年間において、このような楽しい思い出をたくさん作っていくたらと思っています。

(1B ○○○○)

慶早戦応援（5月または6月）

春季の東京六大学野球リーグ戦の慶早戦の応援に行きます。1年生は全員参加します。

校内大会（5月・10月）

学年ごとにクラス対抗で球技などを行い、全生徒が参加します。例年行われる種目は次の通りです。

| | | |
|-----|----------|---------|
| 5月 | ソフトボール | (各学年男子) |
| | バスケットボール | (各学年) |
| | ドッヂボール | (各学年) |
| 10月 | サッカー | (各学年男子) |
| | バレーボール | (各学年) |
| | 綱引き | (各学年) |

古典芸能鑑賞会 (6月)

毎年、古典芸能に関する演劇の鑑賞会を実施しています。国立劇場などへ行き、本物の舞台を見る貴重な体験もします。

林間学校 (7月)

1学期の最後に、各学年で全員参加の林間学校が行われます。事前に図書室やインターネットなどで目的地について調べておき、現地で地形・地誌・動植物・歴史などに触れ、実体験を通じて学習します。夏休みにその結果をまとめ、2学期の展覧会の際に発表します。今年度の林間学校は、1年生 北信、2年生 南三陸、3年生 蓼科を目的地として実施する予定です。昨年度、北信に行った1年生の感想を紹介します。

1日目

私たち1年生は、長野県の斑尾へ行きました。東京駅から北陸新幹線に乗車し、長野県の飯山駅に到着しました。そこから、バスに乗って宿泊先である斑尾高原ホテルへ向かい、昼食の斑尾カレーをいただきました。当日はあいにくの雨だったので予定を変更し、小布施へ向かいました。小布施では岩松院で「八方睨みの鳳凰図」の隠れ富士のお話を聞いたり、北斎館で葛飾北斎の作品を見たりと、貴重な体験をすることができました。

2日目

2日目は、丸一日かけてのグループハイキングでした。霧がかかっていて視界が悪いなか、グループのメンバーと協力して、

ゴールである希望湖を目指しました。ハイキングのコースは、ぬかるんだ山道も多く、徐々に体力を消耗していましたが、雄大な自然や澄んだ空気には終始圧倒され、得も言われぬ爽快感がありました。目的地である希望湖に到着したとき、達成感とともに疲労も押し寄せてきたものの、太陽の光を浴びて輝いた水面が美しく、その疲れを忘れてしまうほどでした。

3日目

ホテルで朝食をいただき、後ろ髪を引かれる思いで2日間お世話になったホテルを後にしました。そこから3クラスごとに分かれて行動し、A・B・E組は長野県立美術館を訪れた後、善光寺散策を、C・D・F組は善光寺散策の後、美術館を訪問しました。善光寺では、戒壇巡りをしたり、仏像のお話を聞いたりと、善光寺に対する理解を深めることができました。また、山門の前でクラスごとに集合写真を撮りました。昼食は宿坊で精進料理をいただきました。その後、仲見世通りでお土産を購入したり飲食したりと、友人たちと楽しく過ごしていました。あっという間に時間が過ぎていき、すぐに集合時間になってしまいました。

入学して約3ヵ月が経ったタイミングで林間学校に行き、友人と寝食を共にしたことで、より一層仲を深めることができたとともに、普段なら触れることがない自然に親しむこともできました。このような貴重な経験を糧に、これからの中等部生活を過ごしていきたいと思います。

(1A △△△△)

BLS講習会 (7月)

新入生を対象に、専門の指導者による一次救命処置 (Basic Life Support) と AED 作動訓練を行います。救急手当の手順を学ぶと共に、大切な人・命を救うため、勇気を持って一刻も早い対応ができるよう知識と技術を習得します。

保護者会

年に4・5回、年度始め、中間考査後や学期末に行います。担任と保護者が生徒の成績や生活などについて話し合います。まだ不安のある1年生の1学期や進学をひかえた3年生の2学期は、時間をかけて行います。

校友会の合宿・旅行

夏休みを中心に、各校友会で、練習や試合の他に2泊から5泊の合宿・旅行が行われています。行き先は各校友会により異なります。

海外研修

(長期休暇中)

希望者を対象とした3種類の海外研修を行っています。

夏期英国研修（3年対象）では、青少年用の宿泊施設に英国の生徒と一緒に寝泊まりし、様々な野外活動を通して現地生との交流を深めます。春期英国研修（2年対象）では、英国ホカリル校の生徒宅にホームステイしながら同校の授業に参加し、日本とは異なる生活様式や学校の様子を体験します。2019年度新設の夏期ハワイ研修（3年対象）では、イオラニ校の生徒宅にホームステイし、同校の授業に参加します。

これら中等部主催の研修以外にも、義塾関連の複数のプログラムを紹介しています。

海外提携校日本語研修受け入れ

6月には米国イオラニ校より6名の生徒を受け入れます。また、10月には春期英国研修で中等部生のホームステイのお世話をしてくれた生徒を中心に、20名弱のホカリル校生が来校します。数日間、中等部生宅でホームステイをしながら授業に参加します。パートナーの生徒はもちろんのこと、クラス全員にとって、同年代の外国人と共に学校生活を送ることができる貴重な国際交流の機会となっています。

運動会

(10月)

大学の日吉キャンパスの陸上競技場にて、陸上種目・団体競技などをクラス対抗で行います。昨年度のプログラムは次の通りです。

1. 開会式 (全員)
2. 徒競走 (3年男子全員)
3. 3人4脚 (2年男女)
4. ABCDEF 対抗リレー (各学年)
5. タイムレース① (各学年)
6. 満腹競走 (3年男女)
7. 陣取り綱引き (女子全員)
8. 徒競走 (1年男子全員)
9. 借物競走 (各学年男女)
10. 各部対抗リレー (運動部・学芸部)
11. フォークダンス (全員)
12. 徒競走 (2年男子全員)
13. レディーファースト (1年男女)
14. タイムレース② (各学年)
15. 早かご競走 (3年男女)
16. 徒競走 (女子全員)
17. 騎馬戦 (男子全員)
18. クラス対抗リレー (各学年)
19. 閉会式 (全員)

展覧会

(11月)

校友会の各学芸部が研究成果を発表するほか、学年の部屋では林間学校の学習結果の発表や個人作品の出品もあります。また、運動部も発表や招待試合を行っています。展示は20教室に及びます。

この展覧会には、翌年中等部を受験しようと考えている小学生やその保護者の方が多数訪れ、学校と生徒を直接見て知ることができます。今年度の展覧会は11月9日(土)12:00～16:30、10日(日)9:00～16:00に開催されます。

なお、ポスター・パンフレットの表紙は、毎年生徒の作品から選ばれます。

音楽会 (12月)

校外の施設を借りて、クラスごとに音楽の授業の成果を発表します。全員が出演者となり、舞台に立ちます。また、後半の第二部は、器楽部による管弦楽演奏・マンドリンクラブの合奏・コーラス部の混声合唱です。

なお、3年生の曲は例年、各クラスの生徒による創作曲です。

生徒の感想を紹介します。

昨年とは異なり三年生以外の保護者の観覧も可能になったことから、観客席の人が多く、歌う際とても緊張しました。授業では声が小さいこともありましたが、クラスのみんなが一緒にいると思い、少し安心して勇気を出して歌うことができました。本番では大きな声が出て、息も合ってクラス全体で練習以上の力を出せたと思います。歌い終わった後にはとても達成感がありました。

インフルエンザやコロナウイルスなどの影響で人数が少ないクラスもありましたが、どのクラスもしっかりと声が出ていて一生懸命歌っているのがとても伝わりました。三年生は間奏がとても綺麗で、二年生は初めてしたハモリが上手くでき、一年生は初めての音楽会を楽しんでいました。大成功の音楽会になったと思います。

三学年のクラスもそのクラスの個性や特徴が歌う前のスピーチや歌声などに出ていて、聴いていて楽しかったです。来年が中等部での最後の音楽会になってしまふのはとても悲しいですが、来年もクラスの団結力を高めながら楽しみたいと思います。

(2E □□□□)

生徒会総会 (12月)

全生徒が一堂に会して、生徒会事務局からの年次報告を確認したり、中等部生活をより

よくするために意見を交換したりします。

昨年度のプログラムを紹介します。

第1部

1. 開会宣言
2. 生徒会事務局活動報告・委員会活動報告ならびに質疑応答
3. 新生徒会委員長の所信表明演説
4. 新生徒会委員長に対する方針上の代表質問

第2部

1. 生徒会総会実行委員会活動報告ならびに質疑応答
2. 討論に関する諸注意

第3部

1. 議題及び動議に対する質疑応答・討論採決

第4部

1. 閉会宣言
2. 講評

キャリア講座 (1月)

社会のさまざまな分野・業界で活躍している卒業生を10人ほど招いて講座を開き、その中から生徒が自分の興味・関心に合わせて2講座を選び、お話を聞きます。生徒会総会の議決によって実現した行事です。

見学 (3月)

1・2年生は、社会・理科の授業の一環として、見学を行っています。今までの見学場所は、工場・ゴミ処理施設・大学・研究所・博物館・歴史散策などです。

卒業旅行 (3月)

3年生は、卒業する前に九州へ4泊5日の旅行をします。福岡の太宰府や福澤先生ゆかりの大分県中津をはじめとして、長崎で平和学習を行うなど九州北部を巡ります。

行事のようす



入学式



大学構内見学（旧図書館にて）



健康診断



遠足（江の島）



新入生歓迎会



慶早戦応援



海外研修旅行（春）



校内大会（サッカー）



古典芸能鑑賞会



避難訓練



Basic Life Support (BLS) 訓練



林間学校（長野県・斑尾）



海外研修旅行（夏・ハワイ）



海外研修旅行（夏・英国）



運動会



校内大会（バレーボール）



展覧会



生徒会総会



ホカリ校日本語研修受け入れ



音楽会



見学（川越）



「Improvised English Comedy」鑑賞会



卒業旅行（熊本）



卒業旅行（長崎）

現職教員からのメッセージ

国語科

あなたはケータイ（スマホ）を持っていませんか？メールをしたことはありますか？友だちと話すときに使うことばは、おうちの方、^{じゅく}小学校や塾の先生と話すときのことばとちがうでしょう？えっ？学校の先生に対しても「タメ口」をきいているですか？おやおや。でも、街で見知らぬ人に道を尋ねられたときの受け答えは、友だちとの会話の仕方とはちがいますね。ところで友だちはとても話しやすく、たとえばだれかが使った新しいことばをどんどん自分のことばとして取り入れていることもあるのではないでしょうか。こんな時みなさんはただのことばや新しいことばで話しているのです。では、ただのことばとはいってどんなことばなのか、ことばの何が新しく感じるのかということになると、あまり深く考えたことはないと思うのです。私たちの国語の授業では、新しい、変わりゆくことばをよく観察し、よく考え、そして洗い上げられたことばとして使うことができる感覚を育てることをめざしています。

さきほどから、ことばは変化してゆくものだということをお話していますが、その変化の過程には長い時間が流れています。いま、それを歴史ということばを用いて考えてみましょう。人間の営みに歴史があるように、それを反映したことばにも歴史があります。大昔、文字という便利なものを持たなかった日本人が、自分たちのことばを漢字やひらがな、カタカナを用いて表すことができるようになったのは、昔の人びとの知恵のおかげです。私たちはこうした先人たちの恩恵をこうむっているわけですから、それらを後世に伝えていくためにも、文字に対するきちんとした姿勢を持つべきだと思います。

た姿勢を持つべきだと思います。パソコンの発達した現代では入力しさえすれば漢字が表示されるのですから、ひょっとすると、たとえば漢字を見て覚えられるという人もいるかもしれません。しかし、漢字を正確に書くことができる、^{ていねい}丁寧に書くことができるということは、単に書きとめて記録したり、人に伝えるために書き残すだけでなく、今の自分自身のことを人に知ってもらったりするのにも役立っているのです。そういう姿勢をもつことは、ここが大事なのですが、それを伝える相手のことにまで心くばりをすることができるようになるということなのです。これは人としての身だしなみのひとつともいえることだと思います。

ことばには、昔の人びとのとぎすまされた感覚と豊かな感性、すばらしい工夫がたくわえられていることを忘れてはなりません。そうした知恵と接して、日本のことばのたくみさ、すばらしさ、美しさを体験することが、中学生となる年齢のみなさんには必要なことです。中等部では、生きものとしてのことばを古典のなかにも広く求めています。古典とは、たとえるなら、汲んでも汲んでも汲みつくすことのできないこんこんと湧き出る泉のようなものです。私たちは「ふるきをたずねてあたらしきをしる」ことばの授業を心がけています。

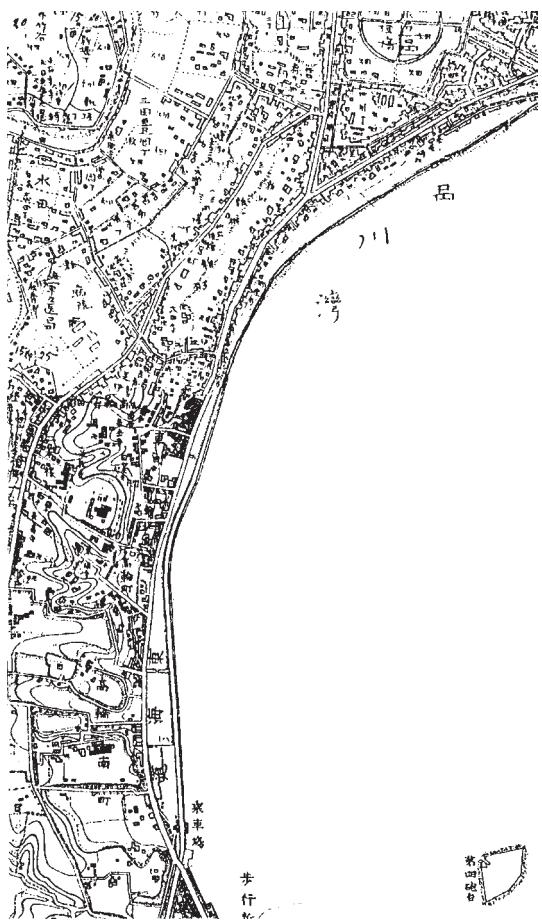


授業風景

社会科

下の地図は、1890（明治13）年頃の東京の地図の一部です。現在慶應義塾中等部のある、三田から高輪にかけてえがかれていますが、今とはずいぶん様子が違いますね。

中等部の社会科では、地図の読み方を勉強して、現在の地図と古い地図とを比べながら、その地域の移り変わりを調べる授業があります。



みなさんの中には、自分は地図なんかに興味ない、という人もいるかもしれません。けれども、地図をじっくりとながめていると、時にはおもしろいこと、不思議なことが発見できたりするものです。

この地図を見ていて、「海の上を鉄道が走っている！」と、おどろいた顔で友達に話しかけた生徒がいました。たしかに地図を見ると（ちょっと見にくいかかもしれません）、

「品川灣」のところで、海の上を鉄道が走っているように見えます。どうして、このようにえがかれたのでしょうか。調べてみると、新橋—横浜間の鉄道は明治5年に開通しましたが、明治初期の鉄道建設には反対意見も根強く、品川周辺では、やむをえず海岸線をうめ立てて路線を通したようです。今の品川駅ははるか内陸になっていますが、もともとはうめ立て地で、すぐに海岸に面していたのです。

みなさんも、時にはじっくりと地図を見ると、なにかおもしろいことに気づくかもしれませんね。

数学科

みなさんは小学校で「素数」について学習しましたね。「素数」とは、その数自身および1以外に約数を持たない2以上の整数のことです。素数は、紀元前300年頃に書かれた『言論』と呼ばれる書物にも記録が残っていて、古代から研究されてきました。

『言論』に書かれている有名な素数の性質として、「素数は無限に存在する」というのがあります。それは、以下のように説明されています。

素数は無限に存在しない、つまり有限個であると仮定し、その最大の素数をPとする。

このとき、素数は $2, 3, 5, 7, 11, \dots, P$ すべてとなる。すべての素数を掛け合わせた数に1を加えた数Nを考える。

$$N = 2 \times 3 \times 5 \times 7 \times 11 \times \cdots \times P + 1$$

このNは $2, 3, 5, 7, 11, \dots, P$ のどの素数で割っても、1余るような数になっている。

のことから、Nは自身および1以外に約数を持たない整数であるので、素数である。

しかし、Nは2, 3, 5, 7, 11, …, Pよりも大きい素数であるので、Pが最大の素数であることとつじつまが合わない。

よって、最大の素数Pは存在しない、すなわち素数は無限に存在する。

このように間違った仮定をたてて、つじつまの合わないことを見つけることで仮定を否定する説明の方法を「背理法」または「帰謬法」といいます。

古代から素数はたくさんの数学者によって研究をされているのですが、まだまだ素数に関しては明かされていない性質がたくさんあります。

例えば、素数を小さい順に並べると以下のようない数列になります。

2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23, 29, 31, 37, 41, 43, 47, …

このように、素数は不規則な数列になっていることがわかります。この素数の数列において、何番目に何の数字がくるのかを求める方法は、長い間数式で発見されていませんでした。1964年に素数を求める数式は発見されました。手計算できるようなものではない非常に難解な数式であることがわかっています。

また、素数に関して「双子素数」と呼ばれるものがあります。「双子素数」とは、差が2になっている2つの素数の組のことです。双子素数を小さい順に並べると、以下のようになります。

(3, 5), (5, 7), (11, 13), (17, 19), (29, 31), …

また、差が2になっている3つの素数の組は「三つ子素数」と呼ばれます。三つ子素数

は以下の1つしかありません。

(3, 5, 7)

素数は無限にあり、三つ子素数は1つしかないことが知られています。では、双子素数は無限に存在するか、それとも有限個なのでしょうか。実は、このこともまだ知られていないのです。

このように、小学校の算数で習うような内容でも、数学の世界では知られていないことがたくさんあります。未知への興味が数学者を魅了しているのです。

みなさんも数学の世界に足を踏み入れ、まだ誰も知らないことを発見してみませんか？

理科

身の回りにある自然界を自分たちで体験し、自分たちで考えていくこと。理科では何よりもこのことを大切にしています。百聞は一見にしかず。いや、「一験」でしょうか？！

みなさんの大好物はなんでしょう。^{あまり}甘いもの、^{かお}香りが気に入ったもの、ちょっとした酸味があとを引くもの。人によって好みは様々ですが、これらは生まれつきもっているものではなく、五感を使ってみなさんが体に染み込ませてきたものですね。こうして五感を通して体験はなかなか忘れることなく、細かいところまで覚えているものです。

例えば生物分野の授業でも、五感を通して理解を深めます。今年も一年生は四月に綱町グラウンドに行き、花の観察・スケッチをしました。入学したての緊張感が野外で解き放たれるのでしょうか。はじめは観察に集中できない生徒もいました。ところがどうでしょう。そういう生徒もいろいろな植物を手に取り、匂いをかいだり、ほほで触ったりしているうちに、今まで知らなかった特徴を見つけ、自分の世界に入り込んでスケッチを始めます。中にはハビイチゴの実を見つけて、「食

べてもいい？」と。味見だけさせたところ、すぐに「ペッ」。きっと彼は二度と食べようとは思わないのと同時に、ヘビイチゴという名や特徴も忘れないのではないか。こうしてできたスケッチは、どれもとても細かく正確な描写ができているものです。

二年生で行う豚の臓器の観察も生徒には貴重な体験となっているようです。臓器を前にした生徒たちの普段は見ることができない表情もさることながら、実物を見たときの生徒たちの知的好奇心には驚かされます。中には空気を肺に送り込んで、肺のふくらむ様子を観察したり、呼吸の力の大きさを実感している生徒もいました。

また、化学分野の授業では、物質のもっとも小さな単位である原子、分子について学びます。肉眼では見ることができない小さな世界は、生徒たちにとって理解しにくいようです。そこで時には、生徒一人ひとりに原子になってもらいました。友人同士がルールに従って手を結ぶことで、いろいろな物質を作ります。元気いっぱいの（温度の高い）物質もあれば、おとなしい（温度の低い）物質もできあがります。同じ体験でも生徒によって少しずつそのとらえ方が異なります。その後の実験レポートではこの体験を生かし、自分なりの表現の仕方で様々な現象を説明しています。

自分たちの経験を通して、それぞれの科学の物語をたくさん作っていって欲しいと願っています。



理科実験

美術科

「大学写生画」

中等部では、3年生になると一年をとおして油絵をやりますが、1、2年生は「ガッシュ」という不透明水彩絵の具を使います。この絵の具は不透明でかつ厚めができるので、この絵の具になれておくと、後で油絵の具が比較的に楽に使いこなせるようになります。この絵の具の特性を生かすには、絵の具を水で溶くときに、水を入れすぎないようにしなくてはなりません。なぜなら水を入れすぎると色が良く発色しないからです。だからといって、少なすぎるとかすれで描きづらくなります。「しょう油ではなく、とんかつソースの濃さになるようにドロドロに溶くと良いですよ」と言うとたいていの人が分かってくれますが、みんな最初はなかなかうまくいきません。一学期の前半は色の勉強をして、色には暖かい感じの色や冷たい感じの色があることや、三原色（赤、青、黄）をそれぞれ2色ずつ混ぜると、中間色（紫、緑、橙）が作れるなどを学びます。これらの授業が終わったら準備万端です。

一学期の後半は、となりの慶應義塾大学のキャンパスに写生画を描きます。大学までは、絵の道具と折りたたみのイスを持って仲良く列を作り移動します。これらの折りたたみイスは技術科／木工分野の授業で先輩（卒業生）たちが作ったものです。

テレビによく出てくる旧図書館の前など、各自が自分の好きな場所を探します。黄色い石造りの塾監局（塾長室や事務局がある所）、東館（東門の上にある建物）、幻の門（昔、大学の正門だった）の前あたりの気に入った場所を見つけます。

大学には古い建物がいくつかありますが、一番有名なのが赤レンガの旧図書館で、明治45年に建てられました。国の重要文化財に指定されていて、三田演説館とならんで慶應義塾のシンボルとなっています。この眺めを描

く生徒も大勢います。ちなみに旧図書館の2階へ上の階段の正面に、きれいなステンドグラスがありますが、この絵の中の女神は左手にペンマークを持っています。これは慶應義塾の校章で、一番下にラテン語で「**ペンは剣よりも強し**」と書いてあります。

さて場所が決まつたら、イスを広げてすわり、画箱を開け、パレットを広げ、筆洗器に水を汲み、色をぬる準備をして、前の週にやつた鉛筆のスケッチに色をぬりはじめます。みんなおそろいのスモック（絵の具で服を汚さないために着る上着）を着ています。そばを色々な人がとおります。大学の学生や教職員がほとんどですが、見学に来た人たちや来客の方々もいます。みんな中等部生が絵を描いている姿をほほえましくながめていきます。大学には数回写生に行き、1年生の一学期が終わりになります。



写生会

保健体育科

【保健】

みなさんは健康とはどのようなものだと思いますか？ ケガや病気をしていない状態のことだと思うかもしれません。WHO（世界保健機関）では健康というものを『健康とは、完全に、身体、精神、及び社会的によい（安寧な）状態であることを意味し、単に病気ではないとか、虚弱でないということではない』と定義づけています。

保健の授業では、健康に関して様々な角度

からアプローチしていきます。まずは自分の体の仕組みや働きを学習することにしています。筋肉や骨や内臓器の名前を知るだけでなく、働きや構造も学習することで、自分の体について興味を持つことから始めています。

更に健康に関する多くの要因を学習します。喫煙や飲酒やストレスなどが体に及ぼす影響を学習し、授業を通して、自分に合った健康づくりや体力向上の知識を学ぶことができ、新たな指標や健康への意識をより高めていくことを目指しています。

体の事だけではなく、心の働きについても学習していきます。自分の感情や悩みなどに対してどのように向き合えば良いのかを学習していきます。また、身近な環境問題から地球規模で起こっている環境問題まで幅広く学習していきます。

【体育実技】

体育実技は、いろいろなスポーツ種目を経験する場です。バレーボールやサッカー、バスケットボール、ソフトボールなどの集団スポーツをしたり、持久走や水泳など個人スポーツもします。どのスポーツ種目も上手い下手ではなく、チャレンジしてみることが大切です。『出来ないから…』ではなく『やってみよう！』という気持ちが大切になります。その上で、上手になるためにはどうしたら良いのかを、様々なアドバイスを受けながら自分で考え、工夫して授業に参加します。また、様々なスポーツ種目を通して、相手への思いやりの気持ちやルールを守ることの大切さを身に付けていきます。

年に一回スポーツテストを実施しています。反復横跳びや長座体前屈などの体力測定や、ハンドボール投げや50m走などの運動能力測定を行います。自分のいろいろな運動能力を知ることが目的ですので、他人と比べることは必要ありません。自分の記録に挑戦していくことが大切になります。

一緒に良い汗をかきましょう!!

技術・家庭科

亜鉛鉄板のふちの処理

切り出した亜鉛鉄板のふちの部分は、そのままにしておくとグニャグニヤとしたり、手でさわったときに手を切ってしまう危険性があつたりします。そのため亜鉛鉄板のふちの処理をして安全性と強さを向上させることが必要となります。ふちの処理にはいくつかの方法がありますが、代表的な3つの方法を学習しましょう。

まず1つめが「折り曲げ」(図①)で亜鉛鉄板のふちを文字どおり折り曲げます。折り台と打ち木という道具を使って加工します。折り台のかどの部分に亜鉛鉄板の折る部分をあわせ、打ち木でたたいて曲げます。そのときに、打ち木の平らな面でたたくようにします。打ち木のかどの部分でたたいてしまうと、亜鉛鉄板のふちがデコボコになってしまいます。

この「折り曲げ」をおこなうことで、ふちの部分は硬くなり強さは向上します。ただこの状態でも手を切ってしまう可能性はまだまだあり手の触れる部分の処理としては不充分ですね。

次に2つめの「折り返し」(図②)を学習します。「折り曲げ」の状態からさらに刀刃という道具を割り込ませて、打ち木を使いさらに内側にたたいて曲げます。そうしたら刀刃を抜き、ふちの部分のさらに端の方だけを打ち木でたたくようにします。そうすることで亜鉛鉄板のふちの部分は内側に向きます。

この「折り返し」をおこなうことで充分な安全性を確保できるではないでしょうか。

そして3つめが「ふち巻き」(図③)です。ふちの部分を針金のようなものに巻きつけてぐるぐると巻いていくのがこの「ふち巻き」です。これは安全性が高そうですが私たちの手作業では難しそうですね。

こうして見比べてみると、「折り曲げ」は手軽にできそうですが、まだまだ危険そうです。でも手が触れない部分ならよさそうですね。「ふち巻き」は安全そうですが、加工が

大変そうですね。ふちの処理をするときはどの方法が適しているのか、加工することとバランスを考えて行なうことが大切です。



図①



図②



図③

音楽科

一言で音楽といつても、その世界はとても広いものです。ジャズやポップス、クラシックといったように様々なジャンルがあります。また、楽器演奏や歌、鑑賞など、音楽との関わり方も人それぞれです。中等部の音楽の授業では、そんな無限に広がる音楽の世界を数多く体験していきます。では一体、どのような事をしていくのでしょうか。

まずは、音楽を聴くことです。前で挙げたジャンルの他にも日本の音楽や世界の音楽など、日常生活の中ではあまり触れることのない音楽も取り上げていきます。そして、それぞれの音楽をただ聴くだけでなく、様々な角度から分析して聴いていきます。例えば、あの有名なベートーヴェンの交響曲第5番『運命』をオーケストラの楽譜を見ながら、ベートーヴェンがどのようにして曲を完成させていき、その中にどのようなメッセージを残しているのかを想像・分析しながら聴いていったり、ディズニーの『ファンタジア』などを鑑賞しながら、音楽と映像の融合について学んだりしていきます。これは生徒にも好評の授業の一つです。

次に音楽を表現することも実践していきます。楽器演奏では、アルトリコーダーを使っていろいろな曲を演奏していきます。最初は1人で簡単な曲を演奏しますが、学年が上がるにつれて3~4人で難しい曲のアンサンブル

ルなども出来るようになっていきます。曲も童謡からポップスまで様々なジャンルの曲を演奏することが出来ます。また、歌唱も忘れてはいけません。中等部では年1回12月に音楽会があります。ここではそれぞれのクラスが合唱を発表します。2学期になると各クラスで歌いたい曲を選び、音楽会に向けて猛練習が始まります。この中で、声によるハーモニーの美しさと歌うことの楽しさ、みんなで1つの曲を作り上げていく難しさとそれをやり遂げた時の喜びや達成感など経験します。毎年、全てのクラスが緊張しながらも素晴らしい練習の成果を見せてくれます。



音楽会

最後に3年間の総まとめとして、なんと曲作り（作曲）に挑戦します。音楽会で3年生は自分達が作曲した曲を歌い、演奏します。今まで勉強してきたことを振り返りながら作詞・作曲・編曲の全てを自分達の手で行います。ここでは自分達だけの、そして2つとなる音楽の世界を表現することができます。いつも聴く人の心を打つ素晴らしい曲が出来上がります。また、これはクラスとしての最後の行事となるため、全員が一生忘れることのない音楽として、その曲を胸にしまい、卒業していきます。音楽には不思議な力があります。きっとこの曲を聴くと、中学時代を思い出すでしょう。中等部音楽科では、様々な音楽に触れ自分が一生付き合っていく音楽を見つけたり、また、一生忘れることのない音楽と出会ってもらえたたらと思っています。

英語科

昨今「グローバル人材」ということばをよく耳にします。グローバルな視点でものごとを考える、あるいは行動するためにはどういう能力が必要なのでしょうか。おそらく「外国語を使いこなせる」という答えが真っ先に返ってくるでしょう。では「外国語を使いこなせる」ためには具体的にどのような能力が求められるのでしょうか。

以前から外国語教育では、4技能、具体的にはReading（読む）、Listening（聴く）、Speaking（話す）、Writing（書く）をバランス良く伸ばすことが求められてきました。4技能の中でも発信的な能力である2技能SpeakingとWritingは、一般的に少人数授業や個別指導を通してでないと、効果が上がりにくいと言われています。ところが「グローバル人材」が求められるにつれ、以前とは違い、発信能力ややりとりする能力が求められ、様々な外国語検定試験で、4技能すべてを測定することが当たり前になる傾向があります。やはり「グローバル人材」には高い発信能力が求められているのでしょう。

こうした情勢の中、中等部ではICT(Information Communication Technology)の力を借りて、タブレット(iPad)とロイロノートというアプリを導入し、4技能、とりわけSpeakingとWritingの能力を高める工夫をしています。

Speaking指導では、自己紹介や指定されたトピックの発表をはじめとするPresentationや外国人教員による個々の生徒へのInterviewを実施します。ところが、これらを順番に1人ずつ実践するにはかなりの時間を要するので、1人ひとりには僅かの実践機会しか提供できず、効率的とも効果的とも言えません。そこでiPadとロイロノートを活用することで、一定数の生徒がロイロノートを通して、同時進行で各自のPresentationを録音あるいは録画し、提出することが実現できました。これまで人前で発表することに抵抗があった

生徒でも、失敗を恐れず、発表に挑戦する姿勢が自然と身につきます。さらに個々に収録したものを、クラス全員で、お互い共有することもできるようになりました。実例として海外の観光名所やお土産を紹介する課題に取り組みました。英語で作成した紹介文を音読練習した後、iPad を使いロイロノートに録音し、提出しました。観光に関連した英語の語彙や表現を身に付けるだけでなく、異文化への理解を深めることにも繋がっています。各生徒が提出した課題を教員が聞き、発音・イントネーション・スピードなど複数の観点から評価ならびにフィードバックをすることで個に応じた指導が可能となりました。

次に Writing では、その場で Writing 課題の作品を iPad を使いロイロノートを通して提出すれば、その場で教師から評価を受けることも、後でフォードバックを受けることも可能です。何よりもスクリーンや iPad を通して、その場で各生徒の解答や作品をクラス全員で共有できることは大きなメリットです。

日頃の家庭学習の一環として、e-learning にも取り組んでいます。e-learning は教室での授業の補完が大きな目的です。中等部では慶應義塾大学外国語教育研究センターによる支援で「Moodle」という LMS (Learning Management System) を無償で利用できます。Internet 環境があれば、いつでもどこからでも、授業や試験に関わる担当教員からの連絡や情報を確認できるだけなく、授業で扱ったワークシートや音声ファイルをダウンロードできます。とりわけ授業担当者である外国人教員の音声を、授業外で何度も聞くことができるのは大きなメリットでしょう。

英語の学習は教室内だけでは時間が足りず、日々の継続が重要です。現在生徒は Scholastic 社の「Literacy Pro」というオンライン教材を用いて洋書多読に取り組んでいます。この教材が提供する洋書は英語圏の子どもたちを対象としたコレクションであるため、より自然な英語表現に触れることができます。生徒は多数の中から自らの英語力と興味関心に合

う本を選び、どこででも読むことができます。また、音声読み上げ・録音・辞書など様々な機能もあるため、4 技能のバランスのとれた学習が実現できます。

まだまだ他にも中等部では特徴的な取り組みがありますが、「グローバル人材」を目指して、4 技能のバランスがとれた外国語学習を目指すように期待しております。



H R

担任の時間として、HR の時間は週 2 回、火曜日の 4 時間目と土曜日の 5 時間目に設定されています。

行事などのお知らせのプリントの配付や、それについての内容の説明、注意事項を確認したり、提出物の回収もこの時間に行われます。また、学校内外で起きていることについて話し合ったり、時には担任から注意喚起も行われます。

生徒会委員会で取り上げる議題について話し合うのもこの時間です。生徒会委員会でクラスの代表となるクラス委員を中心に、中等部の生活をより良くするための議案について話し合われます。また、クラスで団結してスポーツを楽しむ「校内大会」の選手を決めたり、クラスによっては他のクラスに勝利するための作戦を立てることも行っていたりします。この場面で活躍するのは、やはりクラスで選出された校内大会委員です。その他にも、旅行委員、運動会委員、音楽会委員、生徒総会実行委員などがあり、行事ごとに委員

を中心としてクラスへの伝達、話し合いが行われます。

また、担任とクラスの生徒たちとの関係を深める時間でもあり、担任の個性と生徒の個性でクラスの雰囲気が形成されたりもします。クラス全体の課題について、意見を交わしたり、短い文章を書いてもらったりと道徳教育の役割も果たしています。

その他にも、学年全体で大教室に集まり、全体に内容を伝達する、全体ホームルームという形があります。入学当初に行われる、福澤先生についての特別授業や、遠足・林間学校といった旅行行事の準備会、交通事故防止の講習会などが行われます。いずれも学年全体で共有すべき内容で構成されており、学年全体で話を聞く機会も大事にしています。

そしてもう一つ、全校生徒で一堂に集まる例会も年に数回行われます。例会では担当教員が各行事の意義や注意事項の話をしたり、避難訓練、秋には時期生徒会委員長立候補者の立会演説会も行われます。

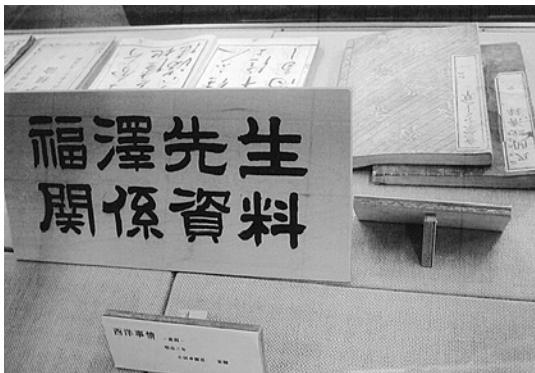
さて、ホームルームにおいて一番盛り上がるのが席替えの時です。どの場所に、誰の隣に座るのかということが、生徒たちにとってはとても重要なことのようです。

| 学級日誌 | | HR担任 検印 | 5月14日 火曜日 天気(くもり) | 記載者 No. | |
|------|------|------------|----------------------------|------------|--|
| 時限 | 教科 | 担当 | 連度 | | |
| 1 | 音 | 坂部 | 中等部の哥欠 樂符の音の強弱 | | |
| 2 | 数1 | 飯島 | 累乗と指數 四則の混じた計算 | | |
| 3 | 国1 | 坂本 | 百人一首 豪傑の求め | | |
| 4 | H尺 | 三村 | 全体研究 (中間テスト) (達成度) | | |
| 5 | 英1 | 竹内 | Whatの疑問句 | | |
| 6 | 保 | 朽堀 | 頭、手、足、腰 の骨格力 | | |
| 欠 | ○○○○ | | 中間に向けて 英2も不気味 かんぱります | ○○○○ | |
| 座 | X | | かんぱります | ○○○○ | |
| 退 | | | 中間、数2がかかるので 頑張ります | ○○ | |
| 刻 | | | じっくり頑張らね | | |
| 早 | | | | | |
| 遅 | | | | | |
| 当番 | ○○○○ | | | | |
| | ○○○○ | | | | |

図書室

受験生の皆さん、小学校時代どれくらい本に親しんだでしょうか。根っからの読書好きもいれば、スポーツや趣味に夢中でそれほど多く本は読んでないや、という人もいると思います。

さて、中等部生は、好むと好まざるにかかわらず、本をよく読みます。そして、本をよく活用します。微妙なニュアンスの違いがありますが、「活用する」という表現、分かりますか。中等部の図書室には、約3万7千冊ほどの蔵書があります。単体の中学校図書室としては非常に多い冊数です。宝の山にも似た、この本の山から、自分にあった本を見つける能力を中等部生は身に付けていきます。



福澤先生関係資料（常設展示）

それはどうしてかといいますと、中等部では、各教科の課題やレポート、読書の授業、展覧会での学芸部の発表等、さまざまな機会において、図書室を利用する場面が多いからです。そこで本を探し、事典を調べ、辞典を引くうちに、先に言ったような能力を自ずと培つてゆきます。

ここで、中等部の図書室を語る上で欠かせないものを二つご紹介します。まず、新入生になったら、『読書のすすめ』という冊子をもらいます。これは、中等部の教員が、中等部生のために作った読書のおすすめ本リストです。素晴らしい素養と感受性を備えた中等部生たちへ、その持てる力にますます磨きがかかるように。そんな願いが込められたものとなっています。



図書室風景

次に、「リーディング・メモ」を紹介しましょう。これは、中等部で過ごす三年間の読書の記録帳です。どんな本を読んだか記録するとともに、本のあらすじや感想や書評など、読んだ本に対する自分の思いを自由に書いてもらうためのものです。この二つは車の両輪のようなもの。中等部での読書ライフをより豊かにすべく、積極的に使ってもらえばと思っています。

受験生のみなさんが中等部に入学しましたら、図書室は必ずや学習の味方、身近な存在となることでしょう。その日を楽しみにしてお待ちしています。

保健室

中等部の保健室は、慶應義塾の小学生から大学生の健康管理をしている保健管理センターの分室のひとつとして機能し、各分室と連携をとりあい、慶應義塾の一貫教育校ならではの健康管理を行っています。例えば、慶應独自の「健康手帳」や「健康のすすめ」という小冊子を配布し、みなさんの健康状態について家庭と情報交換を行っています。健康診断では、法律で定められた項目の他に、希望者には血液検査をし、生活習慣病の予防、学校感染症の予防、貧血の早期発見など病気予防への積極的な対応を行っています。

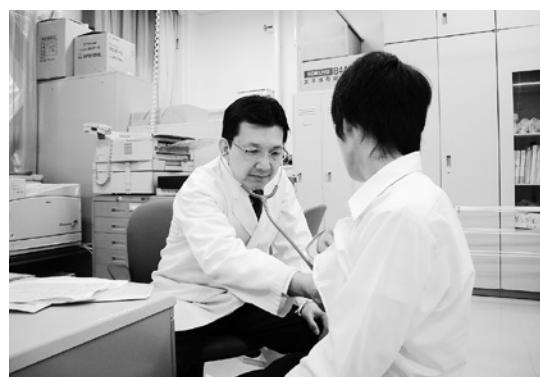
保健室には、ほぼ毎日、学校医が在室し、みんなの健康管理や健康相談、発熱や外傷などの救急診療にあたっています。必要に応

じて、慶應義塾大学病院をはじめとした医療機関へ診療を依頼することもあります。

その他、中等部では、成長期のスポーツ障害予防の積極的な取り組みとして、スポーツメディカルチェックを実施しています。スポーツメディカルチェックでは循環器系の内科的検診と整形外科的検診を合わせて行います。慶應義塾大学病院の整形外科スポーツドクターが来室し、整形外科的な問題についてスポーツ医学相談を行っています。みなさんが安全にスポーツ活動を行っていくように、毎年、熱中症の予防、スポーツ傷害予防などの講演会も開いています。

また、無理なダイエットで健康を害することができないようにウェイトコントロールについても講演会を行っています。

中学生は、勉強の内容も増え、部活動や交友関係も活発になり、生活行動範囲の広がる時期です。身体の成長が著しく、また、精神的にも不安定になりやすい時期です。このような時期には、いろいろなことで悩みが多くなるものですが、お友だちや担任の先生などのほかにも、保健師、カウンセラー、学校医（小児科医）など、保健室にも相談できるひとがたくさんいますので、気軽に話しに来てくださいね。



スポーツメディカルチェック

同窓会活動

11月に行われる展覧会に40歳を迎えた人たちが中等部に集まります。中等部「卒業25周年式典」に参加する、中等部の卒業生です。毎年の参加者が、「人生の中で中等部時代が一番楽しかった」と感慨深げに語る姿がみられます。中等部を卒業して25年、不惑と呼ばれる卒業生は様々な分野で活躍しています。中には、社会的にも著名な方もいます。しかし、この日は中学生に戻って、級友やクラス担任と楽しく話の輪の中に加わっています。自由で明るい中等部の校風が20年以上の年を経ても色あせていない表れといえるでしょう。

同じく展覧会の会場には、同窓会の展示教室が設けられています。中等部の歴史やOB・OGの活躍と中等部時代の思い出などを展示し、同窓生ばかりでなく、中等部生徒や一般の来場者にも同窓会活動の紹介をしています。中等部生にとっては、先輩たちの言葉が将来の人生設計に大いに役立っているようです。

慶應義塾中等部同窓会は、「慶應義塾中等部卒業生の連絡をはかり会員相互の親睦を厚くし、自由な中等部気風の継承と高揚をはかること」を目的として、1964（昭和39）年に正式に発足しました。具体的な活動内容は次の通りです。

- (1) 塾風の伝承に関する援助
- (2) 1回生からの全同窓生が集う「同窓会の日」の開催
- (3) 会員名簿の管理、特選塾員の推薦
- (4) クラス会、同期会への援助
- (5) 慶應義塾中等部同窓会奨学金制度
(名称・中等部ひまわり奨学金)
- (6) その他本会の目的に添う事業
 - ・大学3年生の同窓会員を対象とした個別企業セミナーの開催
 - ・会報「中等部ジャーナル」の発行
 - ・中等部卒業5周年・15周年同期会及び

25周年・50周年記念式典・懇親会の開催支援

- ・展覧会での展示

- ・中等部生対象の同窓会員による講演会
(名称・キャリア講座、環境講座、特別授業、同窓会機構の説明)
- ・各卒業回生の代表が参加して活動内容を討議・決定する、常任委員会（年8回程度）、代議員総会（年1回）の開催

こうした諸活動以外にも、校友会（クラブ）活動を軸に、OB・OG会の開催や、卒業生コーチによる指導も活発に行なわれています。

慶應義塾には、福澤先生のおっしゃった「社中」という言葉があります。学生・生徒、保護者、教職員、そして卒業生、慶應義塾と係わりのある全ての人々が、まるで家族のように協力し慈しみあう、という意味です。

卒業生同士の交流に留まらず、現役生徒対象の奨学金制度や講演会、展覧会での展示などの幅広い活動をしている中等部同窓会は、まさに「社中」の象徴といえるでしょう。中等部で培った人々のふれあいはその3年間で終わるのではなく、中等部同窓会という組織を通して、卒業後も続していくのです。

中等部生活を土台とした、良き友人関係を卒業後も大切に育み、さらに世代を超えた幅広い交流が行なわれているといえるでしょう。



「同窓会の日」の様子

生徒の作文から

出会いからの学び

一年男子

自らの意志

一年女子

僕は、人と話すのが好きだ。話すとその人の意外な一面や得意なこと、好きなことを知ることができるからだ。初めて会う人と話すのが苦手で、人見知りをする人もいると思うが、僕は初めて会う人と話すときは、どんなことが得意なんだろう、どんなことが好きなんだろうといつもわくわくする。だから、僕は人見知りをするのはもったいないと思う。初めて出会った人との会話が、人生の転機になるかも知れない、新たな興味を見つける機会になるかもしないからだ。

小学校の時、あまり話したことのなかつたクラスメイトと話をしてもみたら、僕と同じく文房具が好きなことを知つて、仲が良くなつたことがあつたし、自分が知らないことを詳しく知つている友達がいて感心したこともあつた。

中等部に入学してから、新しいクラスメイトや先生方と出会つた。また新たにたくさんの人と出会い、いろいろな話を聞くことができるこの出会いを僕は大切にしていきたい。

僕はまだ将来の夢は決まつていない。でも、中等部でたくさんの人と話し、自分の知らないことを知つていく中で、将来自分がやりたいことや興味のあることを見つけ、未来につなげていきたいと思つ。

僕は、人と話すのが好きだ。話すとその人の意外な一面や得意なこと、好きなことを知ることができるのである。

私は中等部に入学して、強く思ったことがある。それは、「自らの意志」を強く持つている子がとても多い、ということである。

入学式の日、初めての環境にとまどつていた私に、近くの席の子が話しかけてくれた。その第一声が、「好きなスポーツは何?」である。私はおどろいた。今まであまり好きなスポーツについて考えたことがなく、これといった決まっていなかつたからだ。それに対して話しかけてくれた子は、「バスケットボール」という一つのスポーツを究めていたのだった。なぜだか、その子がキラキラして見えた。その他にも、テニスや野球など一つのスポーツを究めている子がたくさんいた。

また、中間テストが約一週間後にせまつたころ、ある友達が休み時間なのにも関わらず熱心に勉強していた。何をやつているのか聞いてみると、直前にやつた授業で出された宿題であつた。その子は、「今やつておかないとあとが大変だから」と言つていた。先を見越せているその子は本当にすごいな、と思った。

一つのスポーツを究めている子からも、先を見越して勉強していた子からも、自らの意志を強く感じ、かがやいて見えた。私も、自らの意志を持った人になりたい。

近年、夏になると“記録的な猛暑だ”と騒がれます。そんな中であっても、私たち人間は知恵をしほって暑さ対策ができます。しかし、広い視野で考えてみて地球はどうでしょう。どうやって暑さ対策をするのでしょうか。陸に住む動物たち、海に住む動物たちはどうするのでしょうか。動物園や水族館で人間に管理してもらえばいいのでしょうか。みんな自分にあった環境で生活し続けられるのが幸せだと思います。

今回は、人間だけではなく、ほかの生き物も含めたみんながこの地球で幸せに暮らしていくためにできることを考えもらいたいと思い、作文のテーマを「続」にしましたが、実際の作文では、中等部生がさまざまな「続」を考えてくれました。その中から、男女各1編を紹介します。

花見心 1年男子

昔から続いている日本文化と言われて思い浮かぶものはなんだろうか。正月行事やひな祭り、端午の節句など日本古来から続いているものがたくさんある。その中で僕は花見が思い浮かんだ。花見とは花の咲いている樹木を鑑賞し春の訪れを祝う日本で昔から続いている風習である。なぜ今に至るまで続いてきたのか不思議に思った。

まず花見がどのように生まれたかというと、奈良時代に中国から伝来してきた梅を貴族たちが鑑賞しながら詩を詠むということで生まれた。その後、平安時代になり梅から桜を愛でるようになり、豊臣秀吉が桜の木の近くで宴をしたことから宴会のようになり、時代の流れとともに貴族から武士へ、武士から庶民へと受け継がれていき、全ての身分の人が花見で楽しむようになり広まつていったということである。その花見をすることで生まれる自然を大切にしようとする心が大事だと思

う。そして、そのことを昔の人たちがずっと思ってきたから現代まで花見が続いてきたのだと僕は考える。もし自然を大切に思う気持ちを持ち続け、世界に広がっていけば地球温暖化を抑制することができ、人間が生き続けられるのではないかと思う。そんな気持ちのことを僕は「花見心」と呼び日本全体や世界中に広め、地球を守りたいと考えた。そのためには多くの人に花見の良さを知ってもらい「花見心」を持ち続けてもらいたい。

昔から続いている日本文化と言われて思い浮かぶものはなんだろうか。僕は花見以外にも茶道や生け花、書道などたくさんのことを見ついた。そしてそのほとんどが古来から続いており、一つ一つに昔の人の思いが受け継がれている。そんな日本文化を途切れさせないためには、地球環境をよくして人が生き続けるということ以外にはないと思う。

さんぽ～どんどん いこう～ 1年女子

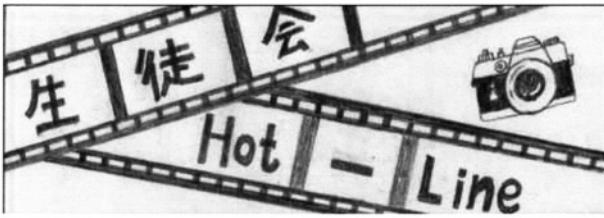
続けるという言葉から連想していちばん初めに浮かんだ言葉は、小さい頃によく聞いていた歌「あるこう あるこう わたしはげんき」のフレーズ。この曲「さんぽ」は私のテーマ曲なのかもしれない。小さいとき、よく近所の公園まで一生懸命に歩いていったことを思い出す。その頃からわりと体力のあった私は、結構な距離でも頭の中に流れる歌と共に、楽しく歩き続けたような記憶が残る。当時、よく私に付き添って一緒に歩いていた母や祖母もよくこんなに歩けると感心していたとか。私は、とにかく公園で遊びたいのも勿論だが、自分の足で歩いていくことが大好きだった。道の途中の草木に、春には青虫、夏にはセミがくつついでいたりする。それから、我が家と公園のちょうど中間にあった八百屋さん。冬には時々焼き芋をもらったりした。私が歩き続ける先には、色々な出会いがいつも私を温かく迎えてくれた。

小学生になった日、まだ慣れないランドセルを一生懸命背負いながら歩いていく。たくさんの先生と友人に出会った。クラスで起こった出来事に大笑いして、ときには真剣に話し合った日もあった。毎日学校に行くのが樂しきれて、いつも次の日が来るのが待ち遠しかったあの頃が懐かしい。晴れの日も、風の日も、傘をさして歩く雨の日もずっと通い続けた。中学へ進学しても、どんどん前に進んでいく。勉強が難しくなって、試験期間は少し疲れても、歩き続ける。

私はこれからもどんどん歩き続けていくだろう。私の歩く先へまだ見ぬ世界が広がっている。そんなことを考えると、ちょっとドキドキもするが、それよりもワクワクする気持ちが勝っている。そして、私の頭の中には今でもあの曲が流れ続けている。「あるくのだいすき どんどんいこう」というフレーズが。

刊 行 物

中等部には、数多くの刊行物があります。その代表が『年鑑』で、テーマによる生徒の作文を柱に、生徒の作品や校友会活動報告とその研究発表、生徒会活動や学事記録を載せています。その他に、図書委員会の編集による『読書のすすめ』、『図書室案内』や、生徒と教員が協力して発行するニュース、まったく生徒主体のニュースなどがあります。



第2号 2024.4.30 Tue.

皆様こんにちは。生徒会報道局です。新入生歓迎会、お疲れさまでした！1年生の皆様、「いいな」と思った校友会は見つかりましたでしょうか？見つかったのなら、体験入部に参加しましょう！今回はその体験入部の日程をお伝えします。日程は以下の通りです。

| 体験入部日程 | | | |
|-----------|------------------|-----------|--------------|
| 校友会名（学芸部） | 日程 | 校友会名（運動部） | 日程 |
| 器楽部 | 4/30, 5/1 | 弓術部 | 5/2 |
| 気象天文生物愛好会 | 水、金 | サッカー部 | 5/1以降の活動日 |
| 近代劇研究会 | 4/30, 5/7 | 柔道部 | 5/11 |
| コーラス部 | 4/30, 5/7, 8 | 女子ソフトボール部 | 4/24以降の活動日 |
| 茶道部 | 5/2, 9 | 体操部 | 5/8, 10 ※② |
| 将棋部 | 4/30, 5/7, 10 | 卓球部 | 5/10, 11, 13 |
| 地理研究会 | 4/30, 5/7 | | |
| 図書の会 | 4/30 | | |
| マンドリンクラブ | 4/30, 5/7, 10 ※① | | |
| 料理と手芸の会 | 4/30, 5/7 | 男子バスケ | |
| | | 女子バスケ | |
| | | バドミントン | |

※① 3年F組教室にて実施
※② 中庭にて実施
※③ 事前予約が必要です。
また、ここに日程が記載されていない校友会については、

【そのほかのお知らせ】

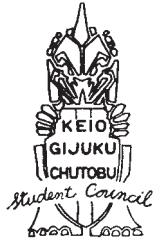
- 1年生向けに配信したはっとらいん第1号に誤りがあり、23年生向けに配信したものについては、訂正したものをおります。応募したい方は担任の先生から題字用用紙を
- 次号は題字の採用作品・前期生徒会委員会議長等の

生徒会の広報活動は活発で、刊行物としては機関誌である「生徒会ニュース」(右)と、速報性のある「生徒会 Hot Line」(上)があります。「生徒会ニュース」は生徒会と生徒の架け橋としての役目を果たしており、学校行事の報告も行っています。「生徒会 Hot Line」では委員会の動きや校友会の活動結果などがより早く生徒に伝えられています。

生徒の自治組織である生徒会は、生徒全員によって組織されています。その中心は各クラスから選出された委員によって構成される生徒会委員会で、生徒全体の自治意識を高めることを目的にして活動しています。生徒全体に関する問題の議題がでると、生徒会委員会で話し合い、それを各クラスで討論し、その結果を委員会で話し合っています。

2024. 3. 16

1



第 276 号

生徒会ニュース

慶應義塾中等部生徒会

☆はじめに

皆さんこんにちは！3月になり、だんだんと暖かくなってきましたね。中等部では、3年生の卒業の日が近づいてきました。最後まで我々三生は残りの中等部生活を楽しんでいきたいと思います。また、4月からは新入生も入ってくるので、1、2年生はお手本になれるよう頑張りましょう。

今年の生徒会ニュースも一生懸命作りました。報道局の最後の活動であり、生徒会活動の集大成です。ぜひ最後まで読んで頂けると嬉しいです。

今号の内容

- P. 1 はじめに
新生徒会事務局について
- P. 2 新旧委員長インタビュー
- P. 4 新スタッフの意気込み
- P. 5 生徒会総会について、写真あれこれ
- P. 6 ユニセフ募金・令和6年能登半島地震義援金について
女子学院との生徒会懇談会について
- P. 7 旧委員長より
旧副委員長より
- P. 8 編集後記



↑新スタッフ承認

慶應義塾の目的

慶應義塾は単に一所の学塾として自から甘んずるを得ず。
その目的は我日本國中に於ける氣品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、
之を實際にしては居家、處世、立國の本旨を明にして、
之を口に言ふのみにあらず、躬行實踐以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり。

福澤 諭吉

創立者福澤諭吉の慶應義塾に込めた思い、教育こそが社会変革の根幹であるとの確信はこの一文に込められている。人々の意識や習慣を変え、さらにはそれを基に社会を改善する力が学問にあると考え、それをまず自らが「先導者」として実践し、多くの卒業生が彼に続いた。近現代の日本の歴史の重大な場面に、慶應義塾の卒業生の姿があったことは偶然ではない。

とりわけ福澤諭吉が教育の成果として強調したのが「氣品」。これは外見や言葉遣いのことではなく、自然とじみ出る人格の高潔さ、人間の大きさのこと。その中には、社会が直面する困難な課題を進んで発見し、その解決に率先してコミットしていく精神も含まれる。「躬行實踐」とは、口先だけでなく、自から実際にを行うことを意味する。そういう精神と行動力を持った人を「先導者」と呼んで育てようとしたのである。

義塾

義塾とは、義捐金で運営される公共の学塾のこと。義とは“社会公共のため”“協力して事業を行う”との意味を持つ。したがって慶應義塾を今の言葉にすれば“慶應共立学校”となる。義塾は英國の「public school」の訳語とも推定される。福澤個人の私塾でもなく、国家や藩からも独立して、権力から独立した公にされた存在として誰もが参加できる、協同で運営されるソサエティという意味が込められている。1868（慶應4）年4月、「創立の年号に取て仮に」慶應をつけたと言われ、その仮の名が今に至るのは、義塾の大らかさを表していよう。

独立自尊

慶應義塾の教育理念が要約された言葉。なものにも屈せず、誰にもおごらず、権威や習慣、常識なるものに囚われず、ただ己の良識と信念に照らし合わせて考え行動する。こうした態度を身につけることを学問することの目的とした。そこでは同時に、一人一人の成熟によって、個人の意識や習慣を変えることで、社会を改善することが目指されている。福澤は「一身独立して一国独立す」とも表現した。近代國家の確立は個人の自立と切っても切れない関係にあると考えていたのである。

実 学

福澤諭吉が提唱した学問は「実学」と総称される。これは単なる実用の学、実用知識や技術を意味するものではない。福澤は実学に、わざわざ「サイヤンス」とふりがなをつけている場合もあり、実学は実証科学としての学問を指していた。平たくは、実学とは科学する心のこと。自立した個人のありようと、科学的にもの事を考えられる判断力と問題解決力を養うことは一体化して考えられていた。また、学問のための学問ではなく、物の理にそった思考と行動様式を日常生活に浸透させることを含んだ言葉ともいえる。社会改良・生活改善のための学問、それが「実学」の意味である。

自我作古

「我より古を作す」と訓み、前人未到の新しい分野に挑戦し、たとえ困難や試練が待ち受けていても、それに耐えて開拓に当たるという、勇気と使命感を表した言葉。出典は中国の『宋史』。現在の言葉で平たく言えばチャレンジ精神。草創期の先進塾生たちが、西洋文明をいち早くとりいれて、日本の近代化に貢献せんとしたその雄々しき氣概を示す一種のモットーの如くに使われている。日本の近代化において、鉄道、電気、ガス、水道、保険、新聞などの分野で事業をリードしてきた慶應義塾の卒業生は、身をもってこの言葉を実践した。

半学半教

学業の進んだ者が他の者を教え、同時にさらに上級の者に学ぶという仕組み。幕末期に福澤諭吉が始めた蘭学塾では、教える者と学ぶ者の分を定めず、それぞれの分野で一日の長のある者が教える、相互に教え合い学び合う仕組み、すなわち「半学半教」の教育形態を実践していた。これは義塾の草創期に師弟共に未知の新分野に挑戦する中ではぐくまれたものだが、後進の世代に対して、学問は究めるほど奥が深く、教員も学生も生涯学び続けなければならないというメッセージとなっている。慶應義塾では、学問に対する志を同じくする者が、ある時は教え、またある時は学び、協同で塾を維持運営するという草創期の精神は今も受け継がれている。

社中協力

慶應義塾は学問という志を同じくするものの結社である。そう表されるほど、学生と教員、また卒業生同士のつながりは強い。「社中」とは、学生・教職員、卒業生などすべての義塾関係者の総称。目的と使命感を共有する者のあつまりという意味がある。義塾の運営を経済的に支えている維持会（1901（明治34）年創設）のほか、卒業生約三十万人が何らかの形で所属する三田会は、職場や地域で組織され、日本だけでなく、世界中で合わせて約860を数える。

慶應義塾の歴史

- 1853 ペリー浦賀に来航
- 1854 日米和親条約
- 1858 福澤諭吉、蘭学塾を創始**
江戸築地鉄砲洲の中津藩奥平家の邸内に福澤が開いた蘭学塾が慶應義塾の原点です。現在、中央区明石町の同地には、慶應義塾発祥之地記念碑が建てられています。
- 1863 英学塾に転向**
- 1868 慶應義塾と命名**
三度にわたる欧米視察で、英語、経済学など新しい教育の必要を痛感した福澤は、1868(慶應4)年、藩や国家などから独立した近代教育の先駆となる学塾として整備。それまで名前のなかった塾を時の元号に因み、慶應義塾と命名しました。
- 1874 幼稚舎発足**
1871(明治4)年、義塾は現在の三田に移転。1874(明治7)年1月には義塾内で和田義郎による塾が開かれ、のち幼稚舎と呼ばれるようになりました。
- 1889 大日本帝国憲法の発布
- 1890 大学部発足**
福澤は義塾をゆくゆくはユニバーシティにしたいとの構想を持っていましたが、1890(明治23)年、3人の主任教師をハーバード大学などから招くことによって、待望の大学部(文学科、理財科、法律科)を設置。1920(大正9)年大学令公布によって義塾は法令に基づいた大学となり、その際自然科学系統の医学部を加え、私学初の総合大学となりました。
- 1894 日清戦争勃発
- 1898 一貫教育の完成(普通部発足)**
義塾は3年制の大学部と7年制の普通部からなる組織でしたが、1898(明治31)年、これが5年制の大学部、5年制の普通部(中等教育)、6年制の幼稚舎(初等教育)からなる一貫した組織に改編されました。幼稚舎からは16年、普通部からは10年という今日と同じ一貫教育が確立したのはこの時です。
- 1899 私学初の留学生派遣**
大学部開設当初の問題は、教授の確保にありました。名実ともに学問の府となるためには、塾出身の大学教授を育てる必要がある、そう考えた福澤は、1899(明治32)年、大学部の卒業生数名を欧米の大学に留学させました。これが私学初の留学生派遣です。彼らが帰国し、大学部の教授陣に加わり、その人々に教わった学生がまた教授となる半学半教の義塾の伝統は、この留学生制度で新たな成果を生みました。
- 1901 福澤諭吉没する
- 1904 日露戦争勃発
- 1906 大学院設置**
学部卒業後のさらに高度な教育・研究を望む気運が塾内に高まったことから、慶應義塾は1906(明治39)年に大学院を設置しました。これが現在の新制の大学院になったのは1951(昭和26)年です。
- 1914 第一次世界大戦勃発
- 1917 医学教育の出発**
- 1920 文・経・法・医からなる総合大学となる**
- 1923 関東大震災
- 1934 日吉キャンパス開設**
関東大震災の復旧が一段落した頃から、校地の拡大による環境整備が検討され始めました。1928(昭和3)年から1934(昭和9)年にかけて日吉台に13万坪の敷地を確保し、第一校舎と体育施設が竣工。大学予科の移転をもって日吉キャンパスが開設されました。
- 1939 第二次世界大戦勃発
- 1941 太平洋戦争開戦
- 1944 藤原工業大学が寄付され工学部となる**
- 1945 広島・長崎に原爆投下



- 1946 日本国憲法公布
- 1947 男女共学を実施（中等部・女子高等学校の設立）**
『学問のすゝめ』の冒頭で平等の思想を説いた福澤は、数多くの著作をとおして女子教育の必要を訴え、また女子教育機関の設置を試みました。戦後の教育基本法の制定により男女共学が実現し、義塾ではまず中等部を設立、幼稚舎を男女共学としました。続いて1950（昭和25）年に女子高等学校を設立して女子教育を始めました。また大学はこれに先立ち、1946（昭和21）年から女子学生の入学を認めました。
- 1948 高等学校発足**
前身である第一高等学校・第二高等学校が発足。翌1949（昭和24）年に両校を統合して慶應義塾高等学校と改称しました。
- 1957 商学部開設**
- 1957 志木高等学校発足**
1948（昭和23）年に設置された慶應義塾農業高等学校から広大なキャンパスを引き継ぎ、普通高等学校となりました。
- 1962 ビジネス・スクール発足**
- 1964 東京オリンピック
1970 日本万国博覧会
1972 札幌オリンピック
- 1981 工学部を理工学部に改組**
- 1990 海外での教育を開始（ニューヨーク学院設立）**
日米それぞれの教育の良さをあわせ学んだ国際人の養成を目的に、1990（平成2）年、義塾は米国にニューヨーク学院（高等部）を開設。慶應義塾の海外での教育・研究の拠点として、その第一歩を記しました。
- 1990 湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部開設**
1990 東西ドイツ統一
- 1992 湘南藤沢中等部・高等部開校**
生徒の能力と個性の伸張を継続的・発展的に図ることを目的に中等・高等学校を統合した6年間一貫教育を目指して開校しました。
- 1993 ヨーロッパで欧州連合（EU）が発足
1995 阪神・淡路大震災
1998 長野オリンピック
- 2001 看護医療学部開設**
2001 アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2004 大学院法務研究科（法科大学院）開設**
- 2005 大学院健康マネジメント研究科開設**
- 2008 創立150年を迎える**
- 2008 共立薬科大学との合併により、薬学部、大学院薬学研究科開設
大学院システムデザイン・マネジメント研究科開設
大学院メディアデザイン研究科開設
- 2011 東日本大震災
- 2013 横浜初等部開校**
慶應大阪シティキャンパス開設（リバーサイドキャンパスを移転）
- 2015 大学部開設125年記念式典・講演会開催**
- 2016 殿町タウンキャンパス開設**
- 2020 新・日吉記念館竣工**
- 2021 慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）開館**
福澤諭吉記念慶應義塾史展示館開館



1 オランダでの福澤諭吉

2 大学部校舎（1904年竣工）

3 開設間もない日吉キャンパス

4 創立100年記念式典

5 創立150年記念式典

募集のあらまし

1. 募集人員

男子：約 120 名 女子：約 50 名
(内部進学者の進学状況により多少の変動があります)

2. 募集要項の発表と出願

① 2025 年度募集要項の発表

中等部ホームページに掲載します。
9月1日を予定しています。
必要書類はプリントアウトしてください。
※願書の頒布はなくなりました。

② 出願期間

Web : 12月下旬
郵送 : 1月10日(金)～1月14日(火)
Web・郵送とも必須となります。
※郵送については、日本国内の郵便局の消印(1月10日(金)～14日(火)の消印)があるもののみとし、着日指定で送っていただきます。
本校での窓口受付はいたしません。
詳細は募集要項をご覧下さい。

③ 出願書類

- (1) 入学志願書
 - (2) 報告書(出身小学校記入)
 - (3) その他中等部で指定するもの
- ④ 入学検定料 30,000 円

3. 入学試験

- ① 一次試験 国語・社会・理科・算数
- ② 二次試験 (一次試験合格者のみ)
体育実技・保護者同席の面接

③ 試験日程

- ・一次試験
2月3日(月) 8:30～12:30
- ・一次合格発表
2月4日(火) 15:00～17:00
(Web 発表)

・二次試験

2月5日(水)

※二次試験は次の時間帯の中で、2時間程度を学校側で指定します。

女子 7:50頃～11:00頃
男子 10:00頃～18:00頃

・合格発表

2月6日(木) 15:00～17:00
(Web 発表)

④ 試験場

一次試験 慶應義塾大学三田キャンパス
(男子: 第一校舎・女子: 西校舎)

二次試験 慶應義塾中等部校舎

4. 学費

入学に必要な費用は、2025年度については未定ですが、参考までに2024年度の現行額は次の通りです。

| | |
|------------|-------------|
| 入学金 | 340,000 円 |
| 授業料 | 900,000 円 |
| 教育充実費 | 210,000 円 |
| 校友会費 | 15,000 円 |
| 合計 | 1,465,000 円 |
| (授業料分納の場合) | 1,015,000 円 |

※義塾内の他の中学校に入学手続きを完了した者には、納入した学費等の振替制度があります。

※所定の期日までの入学辞退者には、入学金を除く学費を返還します。

※なお、詳細は2025年度募集要項をご参照ください。

Q & A

入学試験について

Q 1. 受験にあたって条件がありますか？

A. 特別な条件はありません。受験資格としては、下記ア、イのいずれかに当たる者としています。

ア. 2025年3月に小学校、またはこれと同等の学校を卒業見込みの者。

イ. 次の(1)(2)の条件を共に満たしている者。

(1) 2012(平成24)年4月2日から2013(平成25)年4月1日までに生まれた者。

(2) 海外に在住し、2025年4月以降日本に居住予定の者。

※なお、上記ア、イ共に東京都およびその周辺に保護者（代理人可）が居住、または居住予定の者に限ります。

Q 2. 志願者数、合格者数はどのくらいですか？ また、線上合格はあるのですか？

A. 最近3年間の志願者数、合格者数は以下の通りです。

| | 志願者数 | 合格者数 |
|--------|-------------|------|
| 2022年度 | 男子 1,012 | 140 |
| | 女子 475 | 60 |
| 2023年度 | 男子 856 | 135 |
| | 女子 448 | 58 |
| 2024年度 | 男子 861 | 142 |
| | 女子 454 | 56 |

この他、線上合格者が若干名いますが、年度によって増減があります。

Q 3. 帰国生入試は実施していますか？

A. 実施していません。

Q 4. 入学試験の時間と配点を教えて下さい。

A. 国語・算数が各45分で各100点、社会・理科が各25分で各50点です。

Q 5. 受験の際の持ち物を教えて下さい。

A. 一次試験で必要なものは、受験証・筆

記用具（鉛筆（シャープペンシル可）・消しゴム）です。下敷・定規・コンパス・分度器は必要ありません。一次試験の試験場の各教室には時計はありません。腕時計を持参してもかまいませんが、アラームをセットして使用してはいけません。計算機、計算機のついた時計の持ち込みは禁止しています。二次試験で必要なものは、受験証・体育着・体育館用の運動靴・外履きを入れる靴袋・衣服などを入れる袋です。なお、一次試験・二次試験ともに、上履き、お弁当は必要ありません。

Q 6. 特に重視される科目はありますか？

また、教科ごとの足切りはありますか？

A. 特に重視する科目、教科ごとの足切りはありません。一次試験・二次試験を総合して最終の合否を決定します。

Q 7. 保護者同席の面接では、両親共に出席しなければならないのですか？

A. できるかぎりご両親でご出席下さい。やむを得ない場合には、お一人でも結構です。なお、二次試験の時間は、学校側で指定させていただきます。

Q 8. 寄付金はありますか？

A. 義務づけられた寄付金はありません。ただし入学後に、任意で、「慶應義塾債」（1口10万円できましたら3口以上、大学卒業時または大学院修了時に償還）のお引受け、及び「慶應義塾教育振興資金」（年額1口3万円できましたら2口以上）、慶應義塾の教育・研究・医療環境整備事業の募金、中等部教育充実資金へのご応募をお願いしています。これらは、教育充実のために使われるものです。

Q 9. 慶應義塾の中學三校（普通部、中等部、湘南藤沢中等部）を併願することは可能ですか？

A. 三校とも受験可能となるように配慮します。

学校生活について

Q 1. 通学範囲はどのくらいですか？

A. 今年度の新入生（240名）では、東京23区内から185名、東京23区外から11名、神奈川県から27名、千葉県から6名、埼玉県から10名、茨城県から1名が通学しています。片道の通学時間は、30分までが51名、1時間までが140名、1時間30分までが49名です。

Q 2. 学校指定のカバンはありますか？

また、靴は革靴でなければなりませんか？

A. カバンや靴に指定はありません。基準服を着る場合には黒の革靴、体育館では赤ひもの運動靴を使用します。

Q 3. 昼食と売店について教えて下さい。

A. 昼食は弁当持参が原則となっています。月・水・金のみ、事前ネット予約でお弁当の注文ができます。構内にパン・ジュースの自動販売機もありますが、これのみでは生徒の成長・発育に十分な食事とはいえません。また、事務室では文房具を販売しています。

Q 4. 校友会活動（クラブ活動）への参加状況を教えて下さい。

A. 校友会への参加は自由ですが、どの部にも所属していない生徒はほんの数名です。各部の活動は原則として平日週3日以内ですから、兼部している生徒もたくさんいます。

Q 5. 生徒用のコンピュータの施設について教えて下さい。

A. 2024年4月現在、CAV室に50台、ポプラ館分割教室に26台、視聴覚教室に42台（タブレット）、その他生徒が利用できるものが数台あり、すべてインターネットに接続可能です。

Q 6. いじめはありますか？また、どのような対策をとっていますか？

A. 日頃、互いを尊重しあうことの大切さを指導していますが、残念ながら、いじめが起こることもあります。いじめに対して、学校として厳しい姿勢で対応しています。いじめが起きた場合、起こりそうな状況があった場合、教員同士が連携しながら解決するまで取り組んでいます。

Q 7. 不登校の生徒はいますか？

また、どのような対策をとっていますか？

A. 学年によっては、不登校の生徒がいる場合もあります。カウンセラーが週2回カウンセリングを行います。また、担当の小児科医、ストレスケアの専門医とも緊密に連絡をとって対応します。

Q 8. 慶應義塾の中学校には、中等部の他に普通部・湘南藤沢中等部がありますが、各学校の特色を教えて下さい。

A. 中等部は男女共学75年間の歴史の中で集団生活における幅広い体験を重視する学校、普通部は長い伝統のもとで個性の伸長を図る男子校、湘南藤沢中等部は時代の流れに先行する試みを盛り込んだ中高一貫の男女共学校といえるでしょう。

Q 9. 学費以外にかかる費用はどのくらいですか？

A. 入学までに、基準服（8～11万円、揃える点数による）、体操服（2万6千円程度）、スモック（6千円程度）、絵の具（1万5千円程度）、防災ずきんカバー（1,500円程度）を購入します。今年度の1年生は、積立金（教材、遠足、見学、鑑賞会等の費用）として年額9万円、林間学校費用として7万円、iPad費用として10万円をお預かりしています。この他に、各クラブでの必要用具一式を揃えるのに数万円かかり、長期休暇中のクラブの合宿に1回当たり4～6万円かかります。

Q10. 中等部に入学した後、保護者と共に海外に転出し、その後帰国した場合、中等部に復学することはできますか？

A. 2年間までなら復学できます。ただし、学年が遅れることなく復学するには、次の①～④のすべての条件を満たしていることが必要です。

- ① 1年次の第1学期および3年次の第2・3学期は中等部で学習すること。
- ② 海外渡航期間が1年以内（渡航開始時期によっては最大4学期）であること。
- ③ 復学時に試験を受けてその学年に相当する学力が認定されること。
- ④ 渡航期間中は中学校と同等の学校に就学すること。

なお、学期中の生徒のみでの留学は認めていません。

授業について

Q 1. 各教科で使用している教科書や教材を教えて下さい。

A. 今年度の1年生では、次の教科書・教材を使用しています。この他、プリント教材を必要に応じて使用します。

国語：中学国語1（教育出版）

国語便覧（浜島書店）

中学書写（教育出版）

社会：新しい社会 地理（東京書籍）

新しい社会 歴史（東京書籍）

中学校社会科地図（帝国書院）

資料カラー歴史（浜島書店）

数学：中学校数学1（学校図書）

新A CLASS 中学数学問題集1（昇龍堂）

理科：未来へひろがるサイエンス1（啓林館）

最新理科便覧 東京都版（浜島書店）

音楽：中学音楽1（教育出版）

中学器楽（教育出版）

慶應歌集（慶應義塾大学応援指導部）

美術：美術1（光村図書）

技術：New 技術・家庭 技術分野（教育図書）

家庭 New 技術・家庭 家庭分野（教育図書）

保健：中学保健体育（学研）

体育 ステップアップ中学体育（大修館書店）

英語：NEW HORIZON 1（東京書籍）

新中学問題集（発展編）1年（教育開発出版）

スーパーステップ中学英文法

（くもん出版）

道徳：生き方から学ぶ（日本教科書）

Q 2. プールはありますか？

また、水泳の授業はありますか？

A. 6月中旬～9月下旬にかけて水泳の授業を行います。1年生では25m、2・3年生は50m泳ぐことができるよう指導します。

Q 3. 進度別・能力別授業はありますか？

A. 英語では、週1時間、習熟度を考慮した少人数クラス編成で授業を行っています。

Q 4. コンピュータを使った授業には、どのようなものがありますか？

A. 1・2年次の「情報」の授業では、ネットワーク利用上のルールやマナーをはじめ、基本的なソフトウェアの利用につい

ても指導します。他の教科でも、調べものやレポートの作成など、必要に応じて取り入れています。

また、2021年度入学生よりタブレット（iPad）を1人1台導入し、各授業やHR等で活用しています。

Q 5. 家庭教師について塾に通う必要はありますか？

A. 生徒の学力には個人差がありますので一概にはいえませんが、予習・復習をしっかりと行い、中等部の授業をきちんと聴いてノートをとつていれば、特に必要ありません。

Q 6. 授業について行くのが難しい生徒はどうのように指導していますか？

A. 担当教員が個別の指導を行って課題を出したり、少人数の補習を行ったりして補います。また、教員室は生徒が自由に入室できますので、質問をしに来る生徒がたくさんいます。

Q 7. 英語検定・漢字検定は学校で受検できますか？

A. 英検・漢検とも学校では受検できません。個人で申し込みのうえ、学外で受検して下さい。なお、英語の授業では、TOEFL Primary テストを全員受験し、自分の英語力をスコアで客観的に把握してもらっています。

Q 8. 新型コロナウイルス感染症が流行した時期に授業はどのように行っていましたか？

A. 2020年度5月から、全ての教科をオンライン授業に切り替えました。Google Classroomを活用した、オンデマンド型の授業です。同6月からは分散登校での対面授業を復活させ、オンライン授業も並行して続けました。

2学期以降はコロナ対策をしながら通常の対面授業に戻し、Google Classroomは各教科の課題や伝達手段として補完的に使用しました。

2021年度・22年度も流行の時期がありましたが、引き続き対策をし、年間を通じて対面授業を行いました。

進学について

Q 1. 高校への進学について教えて下さい。

A. 中等部に学ぶ生徒は、特別に進学のための試験を受けることなく、中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。ただし、普段の学習や素行の面において、特に不良の場合には、進級・進学に影響することもあります。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部への進学はできなくなりました。

Q 2. 中等部を卒業して塾内高校に入学する際、入学金を支払う必要はありますか？

A. 塾内のどの高校に進学しても、改めて入学金を納めていただいている。

Q 3. 中等部を卒業して慶應義塾ニューヨーク学院高等部へ進学する際、条件や注意すべきことはありますか？

A. 特に条件はありません。ニューヨーク学院の教員は70%がアメリカ人で、英語で授業を行い、日本語は通じません。その授業についていくためには、かなりの英語力が必要です。また、生徒の90%は寮で生活し、その他の生徒は近隣から通学しています。なお、ニューヨーク学院は9月入学になります。

Q 4. 慶應義塾大学の学部選択について教えて下さい。

A. 慶應義塾大学には、文学部・経済学部・法学部・商学部・医学部・理工学部・総合政策学部・環境情報学部・看護医学部・薬学部がありますが、中等部在学中から、進学する学部を決めてしまうことは必ずしも好ましいことではありません。学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を重ねることが、自分の可能性の発見につながります。なお、昨年度の各高校からの進学状況は、次の表の通りです。

| | 日吉 | 志木 | 女子 | 藤沢 | N Y |
|-----|-----|----|----|----|-----|
| 文 | 9 | 10 | 12 | 12 | 2 |
| 経 濟 | 210 | 80 | 60 | 69 | 22 |
| 法 | 224 | 74 | 54 | 64 | 18 |
| 商 | 70 | 18 | 16 | 12 | 11 |
| 医 | 22 | 7 | 5 | 7 | 2 |
| 理 工 | 86 | 40 | 24 | 39 | 7 |
| 総 合 | 11 | 1 | 14 | 12 | 5 |
| 環 境 | 22 | 3 | 17 | 15 | 10 |
| 看 護 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 |
| 薬 | 2 | 1 | 0 | 7 | 0 |
| その他 | 14 | 1 | 5 | 4 | 2 |

高校ごとに、学部への推薦枠を設けていますが、以前から医学部、近年は法学部も進学希望者数が推薦枠を超えていました。この場合、成績により希望の学部に進学できないこともあります。

その他

Q 1. 構内を見学することはできますか？

A. 平常は構内の見学はできません。11月9日（土）12:00～16:30、10日（日）9:00～16:00に開催される展覧会の際にご覧下さい。なお、10月3日（木）に日吉キャンパス陸上競技場で行われる運動会（雨天時は10月4日（金）に順延の可能性あり）も公開しています。

※上記の公開行事については、感染症流行など社会的な状況で、変更や中止になる可能性があります。

Q 2. PTA活動はありますか？

A. PTA組織はありません。年に4・5回行われる保護者会では、成績や生活など、担任教員と保護者との懇談の機会が設けられています。また、個人的な面談はいつでも受け付けています。

Q 3. 奨学金制度はありますか？

A. 「小泉信三記念高等学校以下一貫教育校奨学金」（授業料の全額または半額）、「2000年記念教育基金奨学金」（金額は必要に応じて決定）、「中等部同窓会ひまわり奨学金」（授業料・施設設備費および教材費の合計の半額～全額）があります。申請資格は、(1)経済的事情により学業の継続が困難となった者、(2)成績・品行ともに優れ健康である者、となっています。

中等部記念の歌

※中等部創立記念の歌は、作詞・作曲共にその当時の在校生の手によるものです。

創立二十周年記念

風 が 光 が

作詞 大槻 茂彦 (19回生)
作曲 大迫 直樹 (19回生)

のびのび遊ぶ ぼくたちに
風がやわしく 吹いてあげ
「ゆたかになら」 とやさやいた
そつだ ぱくたち胸はつて
じゆゆたかに のびるんだ

一
あかるく集つ
ぼくたちに
光がややこへ
さしがけて
「せうじをもとづ」いわれやいた
そうだ ほくたち胸はつて
ほじりをもつて すすむんだ

樂しく物語り
歌うたれど
ペノのしるしか
歌せんと
「道は遠」 いわゆるやうに
やるが せくたら脇はつて
あつと進むか いの道を

創立三十周年記念

みんなの30年

作詞 原 美津穂 (29回生)
作曲 喜多村めぐみ (30回生)

朝さわやかな朝
青い空にこだまする
さわやかな声
みんなが笑つてゐる
わたしも笑つてゐる
おはようゴーイン

歌 明るい歌
白い校舎にひだまする
明るい声
みんなが歌つてゐる
わたしも歌つてゐる
楽しいハーモニー

三
夢　みんなの夢
若い心にこだまする
希望の声
みんなが夢みてる
わたしも夢みてる
明るいあした

創立五十周年記念

時のかけ橋

作詞 松村 理恵（49回生）
作曲 酒井 基成（51回生）

— いま 握りしめた手と手は
夢を創った人からつながる
受け継いだれた Knowledge
燃える思いは Energy
「」
Energy Independence

— じめ 固く結んだ心は
未来を拓く人へとつながる
いのち 生命すぐト Kindness

原創性
Originality

創立七十五周年記念

未来への道

作曲 和田 大洋 (74回生)
作詞 佐藤 駿太

— 新しい扉 白らの手で開こう
先輩からの教えを胸に
自分で創り出す道
中庭のバレー^{ボール}の音ね
あふれる笑顔
続けよう あしたへと

二
輝く未来 自らの手で築こう
先人からの伝統を胸に
自分で歩き出す道
光るベンマークに通ずる
誇りと気品
羽ばたこう 未来へと

明るい学舎 仲間と語り合ひ^{じゅうまんとごりあひ}
みんなで大切な時間^{じかん}を胸に
みんなでつき進む道
切磋琢磨した校友会
深まつた絆
翔びたとう 世界へと



2025年度 慶應義塾中等部
学校説明会資料

2024年9月1日発行

発行所
慶應義塾中等部
東京都港区三田2丁目17番10号
03-5427-1677
<https://www.kgc.keio.ac.jp>

印刷所
(有)梅沢印刷所
東京都港区三田2丁目15番45号